

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年二月二十日(金曜日)午前十時
二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

佐竹 庄七君 高橋壽太郎君

三好榮次郎君 村上 國吉君

宮澤 胤勇君 小村 俊一君

松田 正一君 田中 養達君

小池 仁郎君 篠田 有徳君

三田村甚三郎君 木村小左衛門君

出井 兵吉君 片野 重脩君

東 武君 平井信四郎君

多木久米次郎君 原 惣兵衛君

石井 次郎君

同月十九日委員高橋元四郎君辭任ニ付
其ノ補闕トシテ小村俊一君ヲ議長ニ於
テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣臨時代理

外務大臣 男爵幣原喜重郎君

內務大臣 安達 謙藏君

農林大臣 町田 忠治君

拓務大臣 松田 源治君

出席政府委員左ノ如シ

農林參事官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

拓務政務次官 小坂 順造君

拓務省殖産局長 殖田 俊吉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左
ノ如シ

農林書記官 荷見 安君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律
案(政府提出)

○西村委員長 ソレデハ是ヨリ開會致
シマス、原サン內務大臣ガ御出席ニナッ
テ居リマスカラ、內務大臣ニ對シテ御
質問ヲ願ヒマス

○原委員 米穀ノ需給ニ關スル一ツノ
緩和策トシマシテ、農林當局ハ罹災救
助基金ト云フモノヲ御使ヒニナルト云
フコトニ付テ、內務大臣ニ御尋ネ致シ
テ見タイト思フコトガアルノデアリマ
ス、ソレハ此罹災救助基金ト云フ法律
ハ、是ハ任意法規ノヤウナ簡單ナモノ
デナクテ、茲ニ一般ノ租稅カラ徵收シ
テモ強行的ニ、即チ強制的ニ、縣ハ罹災

民ヲ救助スル爲ニ一定ノ金額ヲ積立テ
テ置クト云フコトハ、重大ナル公序良
俗ニ關シ罹災民ヲ救助スルト云フ意味
カラ、本法ガ缺クベカラザル救助法規
デアルト云フコトニ對シテハ、內務大
臣ハ御異存ハアリマセヌデセウカ

○安達國務大臣 無論異存ハナイノデ
スアリマシテ、罹災救助基金デ米ヲ買入
レルト云フコトデアリマスガ、ソレニ
付キマシテハ斯ウ云フ方針ヲ執リマシ
タ、農村ノ救済ヲ最モ必要ト認メル地
方ニ於テ、直接罹災救助基金ヲ以テ買
入レルト云フコトハ許セナイ、ソレデ
府縣ガ責任ヲ以テ、府縣會ノ議決カ、若
クハ參事會ノ議決ヲ以テ罹災救助基金
ヲ府縣ガ借リマシテ、サウシテ府縣ガ
責任ヲ負フテ、而シテ若干ノ米ヲ農村
ノ救済ニ最モ必要已ムヲ得ザル場合ニ
限ッテ買フノデアアルナラバ、ソレハ宜シ
イ、府縣ガ責任ヲ持タナケレバナラ
ス、直接罹災救助基金ヲ以テ借入レル
ノデナクシテ、サウ云フ場合ニ罹災救
助基金ヲ低利ニシテ使フコトハ差支ナ
イ、斯ウ云フ意味ノ通牒ヲ出シテ居リ
マス

○原委員 罹災救助基金法ト云フ、此
基金ニ關シテノ監督官廳ハ、本法ニ依ッ
テ明白ニ農林省並ニ大藏省ガ監督官廳
ダト心得テ居ルノデアリマスガ、內務
大臣ハ之ニ對シテ監督官廳トシテノ一
ツノ地位ニ御立チニナッテ居ルト思召
デアリマスカ

○安達國務大臣 無論サウデアリマ
ス

○原委員 サウ致シマス、先刻私ガ
御尋致シマシタ府縣ノ此金ヲ使フト云
フコトニ對シテハ、府縣參事會若クハ
府縣會ノ議決ヲ得ナクチャナラヌト云
フ仰セデアリマシタガ、元來此金ヲ運
用スル方法、其他ニ付キマシテハ、的確
ニ項目ヲ舉ゲテ、第十七條以下ニ明白
ニ規定シテ居ルノデアリマス、若モ府
縣ガ米ヲ買フト云フコトニ付テ御使ヒ
ニナルト云フコトデアッタナラバ、府縣
ハ斯ウ云フ重大ナ、最モ強行的ニ規定
シテアリマスル斯ウ云フ金ヲ御使ヒナ
ラナクテモ、縣ハ自ラ縣債ナリ、縣ノ借
入金ヲ以テ御使ヒニナッテ十分デアリ
マスノニ、何故斯ウ云フ金ヲ使ハナケ
レバナラヌノデアリマスカ、ソレヲ御
伺シタイ

○安達國務大臣 縣ハ罹災救助基金カ
ラ米ヲ買フノデハナイ、縣ガ最モ低利
ナ罹災救助基金ノヤウナモノヲ借入レ

テ、サウシテ農村ノ救済上已ムヲ得ザ
ルト認メル時ニ、米ヲ買入レルコトヲ
得ルノデ、罹災救助基金ヲ直接出スノ
デハナクテ、縣ガ總テ利子ノコトヤ、或

ハ萬一ソコニ損失ガアツタ時ニハ責任
ヲ負フ、罹災救助基金ニハ何等損害ヲ
與ヘナイト云フ確タル見込ガ付イタ上
デ、而シテ後ニ縣ガ其金ヲ借入レテ急
場ノ運用ニスルト云フノデアツテ、何等
罹災救助基金ノ根本ノ性質ニ付テ障礙
ヲ與ヘルコトハナイノデアリマス

○原委員 ソレデスカラ、私ノ言フノ
ハ、縣ガ責任ヲ以テヤルト云フコトデ
アルナラバ、一般ニ縣債ヲ起シ、或ハ縣
ガ借入金ヲスレバ宜イノデ、斯ウ云フ
金ヲ使ハナクテモ宜イノデハナイデセ
ウカ、斯ウ云フ重大ナル金ヲ特ニ使ハ
ナクテモ、縣ガ借入金ヲスルトカ或ハ
他ニ方法ガアルノデスガ、斯ウ云フ金
ヲ使フト云フ理由ハ何處ニアルノデス
カ

○安達國務大臣 ソレハ是マデニ罹災
救助基金ヲ縣ガ借入レル例ハアルノデ
スカラ、一向差支ナイト思ヒマス、少シ
モ罹災救助基金ニ損害ヲ與ヘルコトナ
クシテ、縣ガ借入レテ、サウシテ其金ヲ
運用スルノデアルカラ、何等差支ナイ
ト思ヒマス

○原委員 サウ致シマス、今内務大
臣ハ、今マデ能ク例ガアルト云フヤウ

ニ仰セニナリマシタガ、サウ云フ前例
ハアルノデスカ
○安達國務大臣 サウ云フ込入ッタク
トハ、私茲ニ書類モ何モ持ッテ居リマセ
スカラ、後デ地方局長ガ出マシテ詳シ
ク説明スルコトニ致シマス、細カイコ
トハ局長ガ能ク知ッテ居リマスカラ、局
長ヲ出シテ御答スルコトガ大變宜カラ
ウト思ヒマスカラ、ドウゾ左様御承知
ヲ願ヒマス

○原委員 私考ヘマスノニ、細カイコ
トハト仰シヤイマスガ、前例ガアルト
仰シヤルカラ、前例ガアルナラバ指摘
シテ吳レト云フノデ、私ノ言フ點ト、内
務大臣ノ御考ニナッテ居ル點トハ違ッテ
居ル、私等ハ此罹災救助基金ト云フモ
ノハ、嚴格ニ其運用方法ガ規定シテア
ルノデアアルカラ、縣ガ他ニ借入レル途
ガアルノニ、即チ縣債ヲ起ストカ、或ハ
借入金ヲスルトカ云フ方法ヲ採ラナイ
デ置イテ、斯ウ云フ金ヲ使フト云フコ
トハドウ云フ理由デアルノカト云フコ
トヲ御聽キシタイノデアアル、他ニ絶對
的ニ縣ガ借入金ヤ縣債ヲ起スコトガ出
來ナイ、萬已ムヲ得ナイカラ此金ヲ借
リルノダ、斯ウ云フ御話ナラバ私等ハ
諒解スルノデスガ、他ニ方法ガアルノ
ニ拘ラズ、何故此罹災救助基金ヲ御使
ヒニナルノデアアルカ、此理由ガ御聽キ
シタイノデス

○安達國務大臣 チヤント十七條ニモ
「三分ノ二ヲ控除シタル金額ヲ超ユル
コトヲ得ズ」ト云フコトガキメテアッ
テ、公共團體ヘノ貸出ト云フコトハ認
メテ居ルノデアリマス

○原委員 ソレナラバ尙ホ進ンデ御尋
ヲ致シマスガ、本法ニ於テハ嚴格ニ利
廻リ其他ニ付テ常ニ確實性ト云フコト
ガ書カレテアルノデアリマス、例ヘバ
十七條ノ四「確實ナル銀行ニ利付ニテ
當座預ケ定期預ケヲ爲スコト」斯ウ云
フコトガ常ニ嚴格ニ規定シテアリマス
ガ、縣ガ米ヲ買フト云フコトニ對シテ、
此罹災救助基金法ト云フ特別法カラ金
ヲ貸付ケルト云フコトハ、果シテ確實
ナコトデアリマセウカ、ドウデアリマ
セウカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持チマ
スカラ、非常ニ確實ダト思ヒマス、即チ
其糶ヲ貯藏シテ何割減ルトカ、其利子
ガ幾ラニナルトカ云フヤウナコトハ、
是ハ皆府縣ガ責任ヲ持ッノデアリマ
ス、ソレデハ容易ニスルコトデナク
シテ、農村救済ノ爲ニ萬已ムヲ得ザル
場合ニハ、斯ウ云フコトヲシテ宜イト
云フヤウナ通牒ヲ、局長ノ名ヲ以テ出
シテ居ルコトニナッテ居リマス、府縣其
モノガ確實デアリマス、府縣ヲ信用ス
ル、罹災救助基金ニ對シテ損害ハ一文
モ掛ケナイヤウナ確實性ヲ持ッテ居ル

○原委員 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持チマ
スカラ、非常ニ確實ダト思ヒマス、即チ
其糶ヲ貯藏シテ何割減ルトカ、其利子
ガ幾ラニナルトカ云フヤウナコトハ、
是ハ皆府縣ガ責任ヲ持ッノデアリマ
ス、ソレデハ容易ニスルコトデナク
シテ、農村救済ノ爲ニ萬已ムヲ得ザル
場合ニハ、斯ウ云フコトヲシテ宜イト
云フヤウナ通牒ヲ、局長ノ名ヲ以テ出
シテ居ルコトニナッテ居リマス、府縣其
モノガ確實デアリマス、府縣ヲ信用ス
ル、罹災救助基金ニ對シテ損害ハ一文
モ掛ケナイヤウナ確實性ヲ持ッテ居ル

○原委員 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持チマ
スカラ、非常ニ確實ダト思ヒマス、即チ
其糶ヲ貯藏シテ何割減ルトカ、其利子
ガ幾ラニナルトカ云フヤウナコトハ、
是ハ皆府縣ガ責任ヲ持ッノデアリマ
ス、ソレデハ容易ニスルコトデナク
シテ、農村救済ノ爲ニ萬已ムヲ得ザル
場合ニハ、斯ウ云フコトヲシテ宜イト
云フヤウナ通牒ヲ、局長ノ名ヲ以テ出
シテ居ルコトニナッテ居リマス、府縣其
モノガ確實デアリマス、府縣ヲ信用ス
ル、罹災救助基金ニ對シテ損害ハ一文
モ掛ケナイヤウナ確實性ヲ持ッテ居ル

○原委員 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持チマ
スカラ、非常ニ確實ダト思ヒマス、即チ
其糶ヲ貯藏シテ何割減ルトカ、其利子
ガ幾ラニナルトカ云フヤウナコトハ、
是ハ皆府縣ガ責任ヲ持ッノデアリマ
ス、ソレデハ容易ニスルコトデナク
シテ、農村救済ノ爲ニ萬已ムヲ得ザル
場合ニハ、斯ウ云フコトヲシテ宜イト
云フヤウナ通牒ヲ、局長ノ名ヲ以テ出
シテ居ルコトニナッテ居リマス、府縣其
モノガ確實デアリマス、府縣ヲ信用ス
ル、罹災救助基金ニ對シテ損害ハ一文
モ掛ケナイヤウナ確實性ヲ持ッテ居ル

○原委員 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持チマ
スカラ、非常ニ確實ダト思ヒマス、即チ
其糶ヲ貯藏シテ何割減ルトカ、其利子
ガ幾ラニナルトカ云フヤウナコトハ、
是ハ皆府縣ガ責任ヲ持ッノデアリマ
ス、ソレデハ容易ニスルコトデナク
シテ、農村救済ノ爲ニ萬已ムヲ得ザル
場合ニハ、斯ウ云フコトヲシテ宜イト
云フヤウナ通牒ヲ、局長ノ名ヲ以テ出
シテ居ルコトニナッテ居リマス、府縣其
モノガ確實デアリマス、府縣ヲ信用ス
ル、罹災救助基金ニ對シテ損害ハ一文
モ掛ケナイヤウナ確實性ヲ持ッテ居ル

○原委員 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持チマ
スカラ、非常ニ確實ダト思ヒマス、即チ
其糶ヲ貯藏シテ何割減ルトカ、其利子
ガ幾ラニナルトカ云フヤウナコトハ、
是ハ皆府縣ガ責任ヲ持ッノデアリマ
ス、ソレデハ容易ニスルコトデナク
シテ、農村救済ノ爲ニ萬已ムヲ得ザル
場合ニハ、斯ウ云フコトヲシテ宜イト
云フヤウナ通牒ヲ、局長ノ名ヲ以テ出
シテ居ルコトニナッテ居リマス、府縣其
モノガ確實デアリマス、府縣ヲ信用ス
ル、罹災救助基金ニ對シテ損害ハ一文
モ掛ケナイヤウナ確實性ヲ持ッテ居ル

○原委員 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持チマ
スカラ、非常ニ確實ダト思ヒマス、即チ
其糶ヲ貯藏シテ何割減ルトカ、其利子
ガ幾ラニナルトカ云フヤウナコトハ、
是ハ皆府縣ガ責任ヲ持ッノデアリマ
ス、ソレデハ容易ニスルコトデナク
シテ、農村救済ノ爲ニ萬已ムヲ得ザル
場合ニハ、斯ウ云フコトヲシテ宜イト
云フヤウナ通牒ヲ、局長ノ名ヲ以テ出
シテ居ルコトニナッテ居リマス、府縣其
モノガ確實デアリマス、府縣ヲ信用ス
ル、罹災救助基金ニ對シテ損害ハ一文
モ掛ケナイヤウナ確實性ヲ持ッテ居ル

○原委員 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

○安達國務大臣 府縣ガ責任ヲ持チマ
スカラ、非常ニ確實ダト思ヒマス、即チ
其糶ヲ貯藏シテ何割減ルトカ、其利子
ガ幾ラニナルトカ云フヤウナコトハ、
是ハ皆府縣ガ責任ヲ持ッノデアリマ
ス、ソレデハ容易ニスルコトデナク
シテ、農村救済ノ爲ニ萬已ムヲ得ザル
場合ニハ、斯ウ云フコトヲシテ宜イト
云フヤウナ通牒ヲ、局長ノ名ヲ以テ出
シテ居ルコトニナッテ居リマス、府縣其
モノガ確實デアリマス、府縣ヲ信用ス
ル、罹災救助基金ニ對シテ損害ハ一文
モ掛ケナイヤウナ確實性ヲ持ッテ居ル

○原委員 府縣ガ責任ヲ持テバ確實ダ
ト斯ウ仰セニナルガ、其府縣ガ確實デ
アルト云フコトハ、先ヅ第一ニ言ヘマ
スカ、即チ府縣ガ責任ヲ持テバ別デア
リマセウガ、サウデナクテサウ云フ米
ノ買入レヲ爲シテカラ、米ノ相場ガ元
ノ通りニ復シテ、元ノ通りニ拂ヘテ行
ケルカト云フ根本ノ確實性ガアルカト
云フコトヲ御尋シテ居ルノデアアル、米
ガ必ズ値ガ上リ、サウシテ元ノ通り
チヤント返セルト云フヤウナコトハ、
米ノ相場ノヤウナ變動ノ激シキモノニ
對シテ確實性ガアルト、内務大臣ハド
ウシテ保證ガ出來マスカ

○安達國務大臣 地方ノ公共團體ガ借
主デス、ソレカラ糶ヲ買フト云フコト
ハ府縣ガスルコトデアツテ、罹災救助基
金ヲ出ス時ハ府縣ヲ信用スル、府縣ヲ
信用シナイト云フコトハ間違デアリマ
ス、府縣ヲ信用スル、府縣ハ是ハ容易ニ
致シマセヌ、已ムヲ得ザル時ニスルカ
ラ、米ノ損失ノコトモ見込シテ、サウシ
テ借入レルコトデアリマスカラ、何等
罹災救助基金ニ對シテ危險ヲ與ヘルコ
トハナイノデアリマス

○原委員 私ガ御尋シテ居ル點ハ、實
ハ根本ニ此金ヲ御利用ニナッタト云フ
目的ガ、元々已ムヲ得ズシテ此金ヲ遣
フノダト云フノダト云フ立場ニ居ルカ

ラ、斯ウ云フ金ヲ御遣ヒニナルト云フ問題デハナクテ、寧ロ是ハ實際カラ言ッ

考ノ下ニヤル以上ハ、之ヲ認メザルヲ得スト思ヒマス

マシテ行掛リニナッテ居ル點ニ付テ東郷委員ノ質問、竝ニ私ノ質問ニ對シテ

方ガ一般物價指數ヨリ上ニアルト云フ關係ニ在ル、斯ウ云フコトヲ認メタノ

タナラバ、農村ヲ救済スル爲ニハ、縣ノ罹災救助基金マデモ之ニ利用シテ、吾

○原委員 此點ハ色々御尋ヲシタイコトモ澤山アルノデアリマスケレドモ、

ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石黑政府委員 物價指數ソレノ物ニ付テ重要度ガ違フ、原サンノ御舉

吾ハ農村ニ遣フノダト云フコトヲ、一ツハ私ハ宣傳ニ御利用ニナッタモノダ

内務大臣ガ萬已ムヲ得ザル所ニハ仕方ガナイト仰セニナッテ、斯ウ云フ金ヲ利

○石黑政府委員 只今御尋ノヤウニ、私共ガ米價率ト云フモノヲ取リマシタ

物ニ付テ重要度ガ違フ、原サンノ御舉

ト思フ、事實ノ上カラ言ッタナラバ、此金ヲ内務大臣ガ監督官廳ノ上級ニアッ

レバ是レ以上ハ追窮ハ致シマセヌソレデ本ニ返ッテ農林大臣ニ御尋致シ

○石黑政府委員 只今御尋ノヤウニ、私共ガ米價率ト云フモノヲ取リマシタ

物ニ付テ重要度ガ違フ、原サンノ御舉

テ、縣ニ對シテノ監督權ヲ御持チニナッテ居ル立場ニ於カレテ、唯府縣ガ責任

タイ……

考ヘテ居リマシタ結果、其兩者ノ割合ヲ取ッタ物價指數其モノヲ取ッテ基準ヲ

コトハ甚ダ比例ヲ失シテ居ルデハナイカ、斯ウ云フ御意見デス、然ラバ米ヲ幾

ヲ持ツカラ此位固イコトガナイト仰シヤルガ、内務大臣ハ先ヅ此罹災救助基

○西村委員長 農林大臣ハ只今丁度貴族院ノ豫算總會ニ出席サレテ居ルサウ

決定スル一ツノ基礎ト致シマシテ、物價指數ニ對シマスル米價指數ノ割合、

シハナイ、御示ハナイケレドモ、確カ四億トカ、片方ガ幾ラトカ云フ金額デ御

金ノ特別會計ト云フモノ、一ツノ監督權ヲ御持チニナルナラバ、縣全體ノ監

出デニナッテ居リマスカラ、大臣ニ對スル質問ハ保留サレテ、他ノ政府委員デ

即チ一・九幾ラト云フ割合ダケ、高イト云フコトニナリマス割合ヲ捉マヘマシ

比ベニナッテヤウデアリマス、ソレダケノ重要度ヲソレニ加フルガ宜イカ惡イ

督ヲ御持チニナッテ居ル立場上カラ見テ、果シテ之ニ貸付ケル、米ヲ買フ金ニ

宜シイコトガアレバ御質問ヲ願ヒマス

トハ、ソレダケ米ニ對スル重要度ヲ參酌致シタモノト考ヘテ居ルノデアリマス

カト云フコトハ議論ガアリマスカラ申上ゲマセヌガ、假ニソレダケノ重要度

之ヲ遣フノダカラ確カダト云フコトヲ果シテ思召スカ、私ハ之ヲ御尋シテ居

○原委員 私ハ農林當局ニ少シ御尋致シタイ、先般來私ハ率勢米價ノ問題ヲ

質シマシタ所、石黑農務局長ハ、米價率ト物價指數トノ關係カラ見マシテ一定

ヲ加ヘタラ宜イト云フコトニスルト、殆ド日本ノ物價ノ構成ト云フモノハ、

ル、即チ内務大臣ハ米ノ上リ下リノヒドイ時ニ米ヲ買フト云フコトハ此位確

ト物價指數トノ關係カラ見マシテ一定ト仰シヤル、開キガアルト云フコトハ

○石黑政府委員 ソレダケ米ト云フモノニ付テ、一般物價ニ對シマシテ重要

モノハ殆ド表ハレテ來ナイコトニナルデヤナイカト私ハ思フ、ソコデ其重要

カナコトハナイト思召スカ、之ヲ御尋シテ居ルノデアル

「ウエイト」ヲ加味シテ居ルノデアルト云フヤウナコトヲ仰セニナッタヤウニ

○石黑政府委員 其重要度ヲ認メタモノト云フコトハ、數字ノ結果ガサウ現レタノ

色御議論モゴザイマセウシ、經濟學者ニモ議論ガアルヤウニ思ヒマスケレド

○安達國務大臣 ソレハ縣當局者ガ責任ヲ持チマシテ、其損害ガアッタ場合ノ

モ思ヒマス

度ヲ認メタモノト考ヘテ居リマス

モ、重要度ノ表シ方ト云フモノハ、然ラバドウ見タラ宜イカト云フコトニ付テ

コトモ能ク想像シテ案ヲ立テ、責任ヲ持ッテ行ク以上ハ、ソレデ若干ノ利子ト

〔委員長退席、風見理事著席〕

實ハ私ハ朝カラ委員會ニ出マシテ速記録ヲ具サニ拜見シタ上デ質シタイト

ハ、殆ド定説ハ私ハナカラウト思フ、現在物價指數ヲ方々デ取ッテ居リマスノ

カ、其他損失ガアリマシテモソレハ縣ガヤラレル以上ハ覺悟ノ前デ、ソレダ

思ッタ所ガ、速記ガマダ出來テ居リマセヌ、過般來カラ率勢米價ノ内容ニ付キ

キガ出テ來タト云フコトノ結果シカナ

ハ、殆ド定説ハ私ハナカラウト思フ、現在物價指數ヲ方々デ取ッテ居リマスノ

已ムヲ得ズシテ出サザルヲ得ヌト云フ

ス、過般來カラ率勢米價ノ内容ニ付キ

キガ出テ來タト云フコトノ結果シカナ

ハ、殆ド定説ハ私ハナカラウト思フ、現在物價指數ヲ方々デ取ッテ居リマスノ

ヲ見マシテモ、其重要度ヲ適當ニ取ッタ
モノガ一般ニ行ハレ、總テノ物ノ基礎

アリマス

○原委員 ソコデ私ハ今仰セニナッタ

水掛論ニナルカラ申シマセヌ、ソレカ

云フモノハ、サウ云フヤウナ立場カラ、

ニナッテ居ルト云ッタヤウナ物價指數ハ

ラモウ一ツ私ハ物價指數ト米價指數ト

工業生産品ト云フモノハ生産費ガ安ク

ナイヤウニ、私ハ寡聞ニシテ考ヘテ居

ノ差ガ出テ來タ原因ハ、明治三十三年

ナッタダケ低クナッテ行クト云フ形ニ

リマス、併ナガラ重要度ヲ相當見ナケ

頃ノ農村經濟カラ來ル農産物ノ物價、

ナッテ來テ居ルコトガ、私ハ當然差ノ付

レバ行カスト云フコトノ主義ハ、私共

即チ農村ノ生産費ト、ソレカラ工業ノ

イタ岐レ目デハナイカト思フ、農務當

モサウ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、

發達ニ依ッテ、工業生産品トシテ來ル物

局ハ物價指數ト米價指數ト云フモノ、

ソレヲドウ云フ風ニ取ッタ宜カラウ

價ト、是ガ非常ナ差ガ起ッテ來ル結果ニ

差異ガ出來テ來タ原因ガ、ドウ云フ所

ト云フコトニ苦心ヲ致シタノデアリマ

ナッタノダト思ヒマス、例ヘバ明治三十

カラ現ハレテ來タト御考ヘニナッテ居

ス、所ガ取引數量ト申シマシテモ、議論

三年頃ニヤッテ居ッタ紡績ナント云フモ

ルノデアリマスカ、若シ今申シマスカ

ヲシテ參リマスカ、米價ト云フモノ

ノハ、其後多量生産ノ結果、少クトモ物

ウナ、生産費以外ニサウ云フ差ノ生ズ

ヲ取ルノニ、深川ノ中米ヲ取ッテ、其月

價指數ノ傾向ハ是ダケニ下ッテ來テ居

ル原因ガアルナラバ、ソレヲ御示シテ

月ノ取引ノ數量ト云フモノヲ考慮ニ入

云フモノハ低クナッテ來ル、ソレニ反シ

願ヒタイト思ヒマス

レルノガ宜イノカ、日本國中ノ有ユル

テ日本ノ米ヲ作ル生産費ト云フモノ

○石黒政府委員 只今一般物價指數ニ

米ノ數量ヲ重要度ニ入レルノガ宜イノ

ハ、明治三十三年以後カラ、ソナニ機

對シテ、米價指數ノ高クアルノハ米ノ

カト云フヤウナ、非常ナ議論ガアリマ

械ヲ利用スルトカ、多量生産ノ結果デ

生産費ガ著シク低減スルコトガ出來ナ

スガ故ニ、サウ云フ方面ニ取ラズシテ、

ハナイ、人爲的ノモノデアリマシテ、生

コトガ出來ルヤウニナッタ、其爲ノ開キ

從來ノ各、一トシテ見マシタ場合ノ物

産費ト云フモノニ付テハサウ變リハナ

デアアル、斯ウ見ルト云フ御話デアリマ

價指數總平均ト、米自體ダケノ指數ト

イ、其率ハ……サウシマスト一般ノ工

ス、私共モ相當多分ニサウ云フ因子ガ

云フモノ、開キガ、ドノ位アルカト云

業製品ノ生産費ハ、今言ウタ多量生産

其間ノ開キノ中ニ入ッテ居ルト考ヘテ

フコトヲ見タノデアリマス、過去ノ經

ノ結果、工業ノ發達ニ依ッテ段々ト下ニ

居ルノデアリマスカラ、生産費ト云フ

驗ト云フモノハ、三十年ニ互リマスカ

物價指數ハ向イテ來テ居ル傾向ニア

コトニ付テモ相當ノ考慮ガ、此米價率

ラバ、ソレニ付テハ需要ノ緊切ノ程度

ル、然ルニ日本ノ農産ノ生産品ハ、依然

ト云フモノヲ認メル點ニ於テ重要度ガ

ト云フコトモ表レテ居リ、生産費ノ關

トシテ同ジ傾向ニ在ル、即チ斯ウ云フ

入ッテ居ルト斯ウ申上ゲルノデアリマ

係モ幾分ソレノ上ニ表レテ居リ、色々

米ノ値段ト、一般ノ物價トノ差異ガ出

ス、其點ハ全ク御考ト一致シテ居ルト

ナ米ニ付テノ特殊ノ重要サガソレニ表

テ來タト云フコトハ、寧ロ生産費ニ大

思ヒマス、唯其以外ニ開キガアルノハ、

レテ居ルモノト考ヘマスカ故ニ、ソ

ナル基礎ガアルノダト吾々ハ見テ居

何カ別ノ原因ガアルト考ヘテ居ルカト

レノ比較ヲ取ッテ見タト云フコトガ、米

ル、此重大ナル生産費ノ關係ガ違ッテ來

云フ御尋デアリマス、其方ニ對シマシ

ノ特別ナル重要度ト云フモノヲ參酌ス

ルカラ、米ノ値段ト云フモノハ依然ト

テハ、ソレダケガ原因ダト私共ハ考ヘ

ルニ宜シイノダ、斯ウ考ヘテ居ルノデ

シテ高イ値段ニアル、又一般ノ物價ト

テ居リマセヌ、其以外ニ於テ米ニ對ス

タダケデス、併シ此以上幾ラ言ウテモ

ル——内地米ニ對スル消費者ノ要求、即チ需要ノ程度ガ強クナッテ來タト云フコトモ一ツノ大ナル理由デアラウカト考ヘラ居リマス

○石黒政府委員 ソレハ此席デ申上ゲタカドウカハ存ジマセヌ、明ニ廊下ニ出テアナタト御話シタ時ニハ申上ゲタノデアリマス、私ハ左様承知シテ居リマス「ウエイ」ト云フコトガアナタノ仰シヤルノト、私ノ申上ゲタノト或ハ喰違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、需要者ノ需要ノ緊切ノ程度、生産者ノ生産費ガ、工業生産品ノ如ク低減スルコトノ出來ナイ相當ノ生産費ガ掛ッテ居ルト云フコトノ程度ハ、米價ノ指數ト云フモノガ一般物價ノ指數ヨリモ多クノ場合ニ於テ高位ニ在ルト云フ所デ以テ自然ニ現ハサレテ居ルコトデアルカラ、一般物價指數ヲ問ハズシテ、ソレニ對シテ米價指數ガ多クノ場合ニドノ位上ニ在ルカト云フコトヲ見タ、所謂米價率ヲ捉ヘタト云フコトニ於テ、其重要度ガ考ヘテアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○原委員 農林官ノ出ラレルマデ一時休憩ヲ願ヒタイト思ヒマス

○風見委員長代理 他ニ政府委員ニ質問ヲ進行シテ貰フ譯ニハ行キマセヌカ

○片野委員 今ノニ關聯シタ問題デ、極ク簡單ニ伺ヒマス、今ノ應答ノ中ニモアリマシタガ、昨日カラ集計シテ比較ヲ取ッテ見マシタ結果ガ、約二割ノ上ニナッテ居ルカラシテ、ソレデ大體誤リガナイ、重ク見テ居ルト、斯ウ云フヤウ

ナ結論ヲ爲サルヤウデアリマスガ、モルモノデアル、ソレモ波ニナッテ米ノ値段ガ行クト云フコトニ於テ、基礎ヲ其處ニ置キマシテ、サウシテ適當ナル最高最低ノ基準ヲ定メテ行ク、米穀法ノ發動ト云フコトハ、非常ナ際ニヤルベキモノデアアルノデアルカラ、其處ニ一般ノ物價ヲ基礎ト致シマシテ、商品トシテノ他ノモノト同ジヤウニ騰落ノ程度ヲ考ヘテ、サウシテ救済スベキ時ハ何時ナリヤト云フコトヲソレカラ割出シテヤッタ宜カラウト云フ考ノ説ガ、可ナリ有力ニアッタノデアリマス、一方生産質及ビ生計費デ、殊ニ生産費ガ強ク強調サレタノデアリマスガ、ソレノミデヤッテ行クベキデアルト云フ説ガ茲ニ出タノデアリマス、ソレ等ノ説ノ差異ト云フモノハ、委員會ニ於テハ極メテ僅カナ人デアリマスカラ、ドチラガドノ程度ニ強カッタト云フコトハ申上ゲラレマセヌガ、結局一名ノ差デアッ

タノデアリマス、生産費ノ方ガ餘計デアッタノデアリマス、ソコデソレ等ノ狀況ヲ能ク鑑ミマシテ、政府ニ於テ立案デ政府ニ於テ能ク考ヘテ見マスルト云フト、各理由ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、物價指數ト云フモノヲ頭ニ入レテ置イテ、サウシテ商品トシテノ米ト云フモノヲ考ヘルト云フコトモ、是ハ理窟ガアルコトデアアル、又是ガ

○石黒政府委員 一寸今ノ御質問ハ分リ兼ネマスガ……

○原委員 私ノ説明ハ、先般、米ノ値段ト一般ノ物價ト云フモノガ差ガアルノハ、丁度「ウエイ」ヲ吾々ガ見テ居ナカッタ、見テ居ナカッタ此開キト云フノハ「ウエイ」ヲ見テ居ルコト、同ジコトニナルノダカラ、茲ニ「ウエイ」ト云フモノハアルデハナイカト云フヤウナ御説明ガアッタト私ハ考ヘテ居ル、ソレガ爲ニ速記録ヲ見テカラ御質問シヨウト思ヒマシタガ、マダ出來マセヌ、其開キノアッタコトハ一ツノ「ウエイ」ト同ジヤウナ意味合ダト云フコトヲ仰セニナッヤウニ思ウテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ仰セニナラレタコトハアリマセヌカ

○石黒政府委員 一寸今ノ御質問ハ分リ兼ネマスガ……

○原委員 私ノ説明ハ、先般、米ノ値段ト一般ノ物價ト云フモノガ差ガアルノハ、丁度「ウエイ」ヲ吾々ガ見テ居ナカッタ、見テ居ナカッタ此開キト云フノハ「ウエイ」ヲ見テ居ルコト、同ジコトニナルノダカラ、茲ニ「ウエイ」ト云フモノハアルデハナイカト云フヤウナ御説明ガアッタト私ハ考ヘテ居ル、ソレガ爲ニ速記録ヲ見テカラ御質問シヨウト思ヒマシタガ、マダ出來マセヌ、其開キノアッタコトハ一ツノ「ウエイ」ト同ジヤウナ意味合ダト云フコトヲ仰セニナッヤウニ思ウテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ仰セニナラレタコトハアリマセヌカ

○石黒政府委員 一寸今ノ御質問ハ分リ兼ネマスガ……

○原委員 私ノ説明ハ、先般、米ノ値段ト一般ノ物價ト云フモノガ差ガアルノハ、丁度「ウエイ」ヲ吾々ガ見テ居ナカッタ、見テ居ナカッタ此開キト云フノハ「ウエイ」ヲ見テ居ルコト、同ジコトニナルノダカラ、茲ニ「ウエイ」ト云フモノハアルデハナイカト云フヤウナ御説明ガアッタト私ハ考ヘテ居ル、ソレガ爲ニ速記録ヲ見テカラ御質問シヨウト思ヒマシタガ、マダ出來マセヌ、其開キノアッタコトハ一ツノ「ウエイ」ト同ジヤウナ意味合ダト云フコトヲ仰セニナッヤウニ思ウテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ仰セニナラレタコトハアリマセヌカ

○石黒政府委員 一寸今ノ御質問ハ分リ兼ネマスガ……

○原委員 私ノ説明ハ、先般、米ノ値段ト一般ノ物價ト云フモノガ差ガアルノハ、丁度「ウエイ」ヲ吾々ガ見テ居ナカッタ、見テ居ナカッタ此開キト云フノハ「ウエイ」ヲ見テ居ルコト、同ジコトニナルノダカラ、茲ニ「ウエイ」ト云フモノハアルデハナイカト云フヤウナ御説明ガアッタト私ハ考ヘテ居ル、ソレガ爲ニ速記録ヲ見テカラ御質問シヨウト思ヒマシタガ、マダ出來マセヌ、其開キノアッタコトハ一ツノ「ウエイ」ト同ジヤウナ意味合ダト云フコトヲ仰セニナッヤウニ思ウテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ仰セニナラレタコトハアリマセヌカ

一般財界ニ對シマシテ、米ト云フモノヲ適應セシムルト云フ上ニ於テ、適當ナコトデアルト考ヘルデアリマス、唯ソレヲ一般物價指數ダケニ依ッテヤルト云フコトハ、是ハ不穩當デアル、指數ノ取り方ニ付テモ、原サンカラ屢、御議論ガアルヤウニ、「ウエイト」ヲ付ケテ考ヘナケレバ、各、物價指數ヲ構成シテ居ル各品目ニ付テ、色々ナ特別ノ重要度ト云フモノガアルデアラカラ、ソレヲ考ヘナケレバ、御説モ出テ居ル位デ、是ハモウ議論トシテハアルデアリマス、ソコデソレヲ考ヘマスル場合ニ於キマシテ、今ノ一般物價指數ニ對シマシテ、米價指數ノ割合ト云フモノヲ考慮ニ入レマシタノデアリマス、ソレガ即チ先程申上デマシタヤウニ、又原サンモ仰シヤイマシタヤウニ、其處ニ過去ノ生産費ト云フコトニ付テノ考モ入ッテ居ルデアリマス、又内地米ト云フモノニ對スル需要ノ緊切ト云フコトモ、其中ニ入ッテ居ルデアリマス、即チ是ガ米ノ特殊ナル重要度ト云フモノガ其處ノ中ニ於テ自ラ現レテ居ルモノト、斯ウ吾々ハ見テ居ルデアリマス、デアリマスカラ、「ウエイト」ヲ考ヘル際ニ於テハ、此開キヲ考ヘルコトガ一番適當デアラウト、斯ウ考ヘテソレヲ採リマシタ譯デアリマス

○原委員 昨日御願致シマシタ粳及ビ玄米ノ貯藏獎勵ニ付キマシテ、只今頂戴致シタ譯デアリマス、從來粳及ビ玄米ノ貯藏ハ總額ドノ位アッタノデアリマスカ、ソレヲ先ヅ御伺ヲ致シタイノデアリマス

○町田國務大臣 私ハ只今貴族院ノ豫算總會ノ答辯ヲ致シテ、急イデ參ッタノデアリマスガ、只今ノ粳ノ貯藏ノコトニ付テ、詳シイコトハ局長等ヨリ申上デマスガ、御承知ノ通り從來ト雖モ粳貯藏ハ相當アッタノデアリマス、此度ノ私共ガ獎勵ノ施設ヲ致ス前モ、從來ハ相當ナ粳ノ貯藏ガアッタノデアリマス、或ハ七百萬石ト言ヒ、或ハ九百萬石、年ニ依ッテ違ヒマスガ、從來ト雖モアリマシタノデアリマス、併シソレハ、多クハ今摺ト稱スルモノデアッテ、夏位ニナリマス、ソレヲ玄米ニシテ市場ニ賣出スノガ通例デアルサウデアリマス、私ハ詳シイコトハマダ承知シマセヌガ、併シ此度ノ施設ト政府ガ米ヲ買上ゲテ調節ヲスル意味ト同ジ意味ヲ以テ今日ノ端境期マデ一切農家ニ賣出サセヌト云フ一ツノ嚴密ナル監督ト約束ノ下ニ、粳貯藏ヲ致シタル分量ハ大體四百六十萬石デアリマス、此内ニハ粳貯藏ノ習慣ノナイ所、風土ノ關係等ヨリ、粳ニ致サズニ玄米デヤッタ部分モ幾分カアリマス、ソレヲ粳ニ換算致シマスル

ト四百六十萬石ト相成ッテ、縣廳、縣農會、郡農會、更ニ進ンデ町村會等、若クハ信用組合、產業組合等ノ協力ニ依リマシテ、此四百六十萬石ト云フ粳貯藏ニ對シテハ三千萬圓ノ低利資金ヲ貸シタノデアリマス、唯之ヲ貯ヘテ置クト云フコトハ、農家トシテ困難デアラウ、併シ之ヲ賣出スト農家一般ノ米ノ價格ヲ下落シテ、農家一般ニ及ボス迷惑モアルカラ、國家モ相當ナ獎勵補助ヲスルカラ、オ前達モ時價ノ儘ニ急イデ賣出サヌ方法ヲ取ルガ宜シイ、併シ金ガ無ケレバ困ラウ、粳貯藏シテ、賣出スコトヲ控ヘタラ收出ノ上ニ困ラウカラ、ソレガ爲ニ低利資金ヲ貸シテヤルト云ッテ、四百六十萬石ノ粳ニ對シテ三千萬圓ノ低利資金ヲ貸出シテ、今年ノ端境期マデハ一切賣ラサナイ、此施設ハ國家ガ米ヲ買フト稍、同ジ效果ガアル程ニ私共ハ確信シテ居リマス、其粳ノ分量ハ、今申ス通り四百六十萬石デアリマス

○原委員 先ヅ其三千萬圓ノ低利資金ヲ御貸付ニナルト云フノデアリマスガ、其方法ハドウスルカト云フノガー、今一ツハソレヲ擔保ニ御貸付ニナデゴザイマス、ソレデアリマスカラ現ニ此方法ニ依ッテドレダケアルカト云フコトノ報告ハマダ接シテ居リマセヌ

○石黑政府委員 貸付ノ程度ハ、六圓位ノ程度ニ見テ居リマス、ソレカラ如何ナル方法デ貸付ケルカト云フコトハ、是ハ融通ノ形式ト致シマシテハ、預金部ノ方カラ產業債券、勸業債券、農工債券及ビ北海道殖産債券ノ引受ノ方法ニ依リマシテ、サウシテ產業組合中央金庫、勸業銀行、各地ノ農工銀行、北海道殖産銀行ガ、預金部カラ受ケマシタ資金ヲ、產業組合ヲ經由致シマシタリ、或ハ直接粳及ビ玄米ノ貯藏ヲ爲ス者ニ對シマシテ貸付ヲ致ス、直接貸付ヲ致ス場合ニハ、無論銀行ガ銀行法ニ於テ規定セラレテ居ル十人以上ノ連帶者ニ對シテ貸付ヲ爲スト云フ方法ヲ以テヤッテ居ルデアリマス

○原委員 此表ヲ見マス「米穀應急對策低利資金ノ制當金ニ依リテ貯藏セントスル粳又ハ玄米所有者」斯ウアリマスガ現實貯藏シテアル數ハ如何程アルデアリマスカ

○石黑政府委員 是ハ此處ニ掲ゲテ置キマシタヤウニ、一月二十日現在ノ報告ニ依リマシタノデ、現ニ今貯藏致シテ居ルモノニ對シテ融通ヲ致シテ、確實ニ之ヲ押ヘルト云フ方法ヲ今進行中デゴザイマス、ソレデアリマスカラ現ニ此方法ニ依ッテドレダケアルカト云フコトノ報告ハマダ接シテ居リマセヌ

○原委員 サウ致シマスト現實ニ貯藏シテ居ル數ハナイノデアリマスカ、ア

○石黑政府委員 貸付ノ程度ハ、六圓位ノ程度ニ見テ居リマス、ソレカラ如何ナル方法デ貸付ケルカト云フコトハ、是ハ融通ノ形式ト致シマシテハ、預金部ノ方カラ產業債券、勸業債券、農工債券及ビ北海道殖産債券ノ引受ノ方法ニ依リマシテ、サウシテ產業組合中央金庫、勸業銀行、各地ノ農工銀行、北海道殖産銀行ガ、預金部カラ受ケマシタ資金ヲ、產業組合ヲ經由致シマシタリ、或ハ直接粳及ビ玄米ノ貯藏ヲ爲ス者ニ對シマシテ貸付ヲ致ス、直接貸付ヲ致ス場合ニハ、無論銀行ガ銀行法ニ於テ規定セラレテ居ル十人以上ノ連帶者ニ對シテ貸付ヲ爲スト云フ方法ヲ以テヤッテ居ルデアリマス

○原委員 此表ヲ見マス「米穀應急對策低利資金ノ制當金ニ依リテ貯藏セントスル粳又ハ玄米所有者」斯ウアリマスガ現實貯藏シテアル數ハ如何程アルデアリマスカ

○石黑政府委員 是ハ此處ニ掲ゲテ置キマシタヤウニ、一月二十日現在ノ報告ニ依リマシタノデ、現ニ今貯藏致シテ居ルモノニ對シテ融通ヲ致シテ、確實ニ之ヲ押ヘルト云フ方法ヲ今進行中デゴザイマス、ソレデアリマスカラ現ニ此方法ニ依ッテドレダケアルカト云フコトノ報告ハマダ接シテ居リマセヌ

○原委員 サウ致シマスト現實ニ貯藏シテ居ル數ハナイノデアリマスカ、ア

○石黑政府委員 貸付ノ程度ハ、六圓位ノ程度ニ見テ居リマス、ソレカラ如何ナル方法デ貸付ケルカト云フコトハ、是ハ融通ノ形式ト致シマシテハ、預金部ノ方カラ產業債券、勸業債券、農工債券及ビ北海道殖産債券ノ引受ノ方法ニ依リマシテ、サウシテ產業組合中央金庫、勸業銀行、各地ノ農工銀行、北海道殖産銀行ガ、預金部カラ受ケマシタ資金ヲ、產業組合ヲ經由致シマシタリ、或ハ直接粳及ビ玄米ノ貯藏ヲ爲ス者ニ對シマシテ貸付ヲ致ス、直接貸付ヲ致ス場合ニハ、無論銀行ガ銀行法ニ於テ規定セラレテ居ル十人以上ノ連帶者ニ對シテ貸付ヲ爲スト云フ方法ヲ以テヤッテ居ルデアリマス

○原委員 此表ヲ見マス「米穀應急對策低利資金ノ制當金ニ依リテ貯藏セントスル粳又ハ玄米所有者」斯ウアリマスガ現實貯藏シテアル數ハ如何程アルデアリマスカ

○石黑政府委員 是ハ此處ニ掲ゲテ置キマシタヤウニ、一月二十日現在ノ報告ニ依リマシタノデ、現ニ今貯藏致シテ居ルモノニ對シテ融通ヲ致シテ、確實ニ之ヲ押ヘルト云フ方法ヲ今進行中デゴザイマス、ソレデアリマスカラ現ニ此方法ニ依ッテドレダケアルカト云フコトノ報告ハマダ接シテ居リマセヌ

ルノデアリマスカ

○石黒政府委員 多量ニアルト考ヘテ居リマス

○原委員 多量ニアルト考ヘルト云フコトハ、ドウ云フコトデス、現實ニ幾ラ……

○石黒政府委員 確實ニ是ダケアルト云フコトヲ申上ゲラレナイト云フコトハ、曩ニ御答申上ゲテ居ル、併ナガラ多量ニアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

○原委員 ソレデ多量ニアル、分ラヌト仰セニナリマスガ、金ハドレ位才出シニナッテ居リマスカ

○石黒政府委員 只今進行中デアリマス、併ナガラ割當デ以テ要求ガアレバドシ、貸出シテ居ルノデアリマス

○原委員 ソレヂヤ一文モマダ貸シテナイト云フコトデアリマスカ

○石黒政府委員 既ニ各機關カラ、自己資金ヲ以テ貸付ケテ居ルモノガ多量ニアルト思ヒマス、ソレヲ預金部資金ノ方ニ、條件ノ合フモノハドシ、振替ヘテ居ルト思ヒマス

○原委員 サウ致シマス、ソレハ今マデモアルノデアリマスカラ、ソレハ今マデノ方法ニ依ッテ、粃ヤ玄米ヲ貯藏スルト云フコトハナイカト言ッたら、其方法ニ依ッタモノハ相當アルト言フ、私ノ聽イテ居ルノハ、是ハ低利資金ニ依ッ

テ貯藏セントスルノデアルカラ、一體ソレハドノ位貯藏シテ居ルカ、ソレカラ從來ドウ云フ風ニナッテ居ルカト云フト、現在多量ニアルトデス、唯進行中デスヂヤ、吾々ニハ一寸農林當局ノ御説明ガ分ラナイノデアリマス、今マデノ分ハ寧ろ從來ノモノデ、此低利資金ニ據ラナイ分ヂヤナイカト思フノデスガ如何デスカ

○町田國務大臣 政府ニ於テ只今ノ計畫ヲ致ス時ニ、私モ相當努力シ、研究モ致シマシタカラ、其事情ヲ申上ゲマス、預金部ニ三千萬圓ヲ出シテ貰フ要求ヲシテ居リマシタガ、預金部ノマダ進行出來ヌ前ニ於テ、豫メ此方法ハ是非トモ實行シテ見タイト云フ考ヲ持ッテ、中央金庫ノ責任者竝ニ勸業銀行ノ責任者ヲ招キマシテ、預金部ガ委員會ニ於テ三千萬圓ヲ支出スルト云フ決議ヲスル前カラ、此計畫ヲ進メテ居タノデアリマス、其當時ハ多分預金部カラ三千萬圓出來ルト云フ相當ナ確信ガアルガ、是非トモ一日モ早ク著手シタイト云フ意味カラ、中央金庫ガ約一千萬圓、勸業銀行ガ約一千萬圓ヲ、臨時ニ粃貯藏ニ對シテノ資金ヲ貸出スコトノ諒解ヲ得マシテ、此預金部カラ府縣若クハ銀行ヲ經テ割當ル前カラ、相當ノ粃ノ貯藏ガ其方面カラ出テ居ル答デアリマス、而シテ此四百六十萬石以上ニ、私共ノ

計算ニ依レバ五百萬石若クハ六百萬石、大體ニ於テ一千萬石位ハ今貯藏サレル粃ガアルト推算ガ出來テ居リマス、併シ其中デ五百數十萬石ハ端境期マデ賣出サヌト云フ低利資金ヲ此方法ニ依ッテ與ヘル部分ハ四百六十萬石、其他ノ五百六十何萬石ハ俗ニ申ス今摺トシテ賣出サレルモノデアリマスガ、現ニ摺トシテ低利資金ニ依ッテ端境期マデ縛ルモノト、今摺トシテ夏頃ニナレバ賣出スモノガ、現ニ少クトモ今摺トシテ一千萬石以上ハ現存シテ居ル答デアリマス、左様ナ事實デアリマス

○原委員 ドウモ御説明ガ吾々ニハ満足出來ナイノデアリマス、昨年ノ十一月ノ出來秋カラ今年ノ二月、正ニ四箇月經過シテ居ル、此四箇月ノ間ニ本當ニ是ガ現内閣ガ斷ジテ之ヲ行フノデアアル、是ハ本當ニ農村救済ノ爲ニヤルノデアアル、サウシテ米穀ノ調節ヲスルノダト云フ本當ノ考カラデアッタラバ、最早四箇月經過ッテ居ルノデアリマス、此四箇月經過テ居ル時ニ多量デアリマス、進行中デアリマス云フコトダケデ、金額モ何モ分ラナイ、一體貯藏シテ居ルノハ四箇月モ經過ッテ一ツモ無イノデアリマス、アルンデアリマス、ドレダケ此低利資金ニ依ッテ現實ニ貸シ與ヘタノデアアルカト云フコトヲ、明確ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○町田國務大臣 仔細ハ農務局長カラ申上ゲマスガ、今此低利資金ニ依ッテ現實幾ラ貸シテ居ルト云フ數量ハ、農務局長カラ申サレタ如ク、只今進行中デアリマス、今日幾ラノ數量ト云フコトヲ正確ナ數量ヲ申上ゲルコトハ困難デアリマセウ、併シ斯ウ云フ事情ハ御諒察下サイ、各府縣ノ知事ニ十分ナ施設ヲ行フヤウニ獎勵サセマシタ結果トシテ、各府縣ノ知事カラ、自分ノ縣デハ是ダケノ粃、萬已ムヲ得ヌ時ハ玄米ヲ入レルガ、是ダケノ數量ハ必ず自分ノ縣ニ於テ貯藏サセマス云フ届出ヲ得マシテ、ソレニ依ッテ此資金ヲ割當テ、居リマス、此資金ガマダ及バヌ所ハ、先刻私ガ申シタ通り、勸業銀行若クハ中央金庫カラ約二千萬圓位此方面ニ向ッテ融通スルト、過日ノ協議デ致シテ居リマスカラ、一時其方デ行ッテ居ルモノハ他日之ニ振替ヘル、斯様ニナルト考ヘテ居リマス、私ノ方デハ此施設ノ重大ナル事ヲ屢々各府縣知事ニ言ヒ、其中ノ主ナル縣ハ皆東京ニ來テ貰ヒマシテ、打合セラシタ結果、各府縣知事カラ、自分ノ縣デハ是ダケハ粃デアルガ、ドウシテモ粃デアルコトガ慣行上十分イカヌ所ハ玄米デアルトシテ、之ヲ引受ケテ行ッテ居リマスカラ、今後一二箇月ノ間デハ此數量ハ必ず端境期マデハ賣出サヌモノトシテ、農家ガ必ず貯藏

スルト云フコトニ、何等疑ヲ持ッテ居リマセヌ

ハ多少違ヒマスガ、是ハ事實ニ基イテ居リマス、併シ昨年ノ例ヲ御覽下サイ、昨年ノ七八月頃ニナリマシテ民間ニ賣買スル米ガナクシテ急ニ騰ツタ、故ニ政府ガ所有スル米ヲ三回ニ互ッテ、第一ニ消費者ノ立場ヲ考ヘ、第二ニハ七月以降ニナレバ普通ノ農家ガ米ヲ持ッテ居ラヌ時デアアル、商人或ハ大地主ノ手ニハアルカモ知レマセヌガ、一般農家ノ手ニハ米ガナイ時ダト云フ考ト、米ガ著シク騰ツテ來マシタ爲ニ、政府ノ持ッテ居ル米ヲ百萬石賣出シタト云フ事實ハ、現ニ昨年アルデハアリマセヌカ、併シ原君ノ如ク從來ト雖モ一千萬石貯藏シテ居ルト云フコトガ、私共ノ今度ヤリマス當年ノ端境期マデハ之ヲ縛ッテ賣出サレヌト云フ、其艱ノ貯藏トハ違ヒマス、若シ當年ノ端境期マデハ此度ノヤツタ施設デナクとも、從來モ習慣ガアルト仰シヤルナラバ、去年ノ七月、八月頃ニ於テ一般市場ニ賣買セラルベキ米ノ供給ガ減ツテ、著シク消費者ニ脅威ヲ生ズルト云フ傾ガ生ジタ場合ニ、政府ガ賣出ス必要ガナクッタノデアリマス、左様ナ時ハ原君御話ノ如ク一千萬石ノ貯藏ガアルデハナイカト云フノデアリマスガ、ソレガ無クナルノデアリマス、此度米價ヲ調節スル爲ニ之ヲ端境期マデ抑ヘルト云フ、艱ノ貯藏ノ爲ニ三千萬圓ヲ出シタノデアリマシテ、

○原委員 今ソレヲ示ス事モ出來ズ、現實ニ是ガ表モ示サレナイノデアリマスカラ、全ク虚偽ノ宣傳ニ外ナラヌト思ヒマスガ、先ヅ是ハサウト致シマシテ、然ラバ將來ニ向ッテ五百萬石ヲ貯藏スル、今マデハ無論出來テ居ナイノデアリマスガ、將來ニ向ッテスルト申サレマスカラ、先ヅスルト假定シテ御尋シタイ事ガアリマスガ、從來艱デアルトカ、或ハ玄米ヲ貯藏シテ居タ事ガ、私等ノ知ル所ニ依レバ、全國ヲ通ジテ約千四百萬石ト云フモノハ從來貯藏シテ居ッタノデアアル、是ハ獎勵シテモシナクテモ今マデヤッテ居ッテ、是カラ五百萬石オヤリニナルト云フノデスガ、今マデ一ツモナカタナラバ、獎勵ノ力ニ依ッテ五百萬石出來タト云フコトヲ言ヘマセウガ、獎勵ヲシナクテモアッタ一千萬石ノ艱、玄米ト、今度獎勵ニ依ッテ貸付ケルモノト、ドウシテ區別ヲサレルノデアリマスガ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○町田國務大臣 私ガ申シマシタ通り從來モサウ云フ慣行ガアッテ、一時艱貯藏ハ致シテ居ル所ガアルノデス、併シ原君仰セノ如ク、從來デモ一千萬石以上ノ艱ハ貯藏サレテ居ルデハナイカト云フコトハ、七百萬石乃至九百萬石艱貯藏ガアルト云フコトハ、只今ノ數字

ハ多ク違ヒマスガ、是ハ事實ニ基イテ居リマス、併シ昨年ノ例ヲ御覽下サイ、昨年ノ七八月頃ニナリマシテ民間ニ賣買スル米ガナクシテ急ニ騰ツタ、故ニ政府ガ所有スル米ヲ三回ニ互ッテ、第一ニ消費者ノ立場ヲ考ヘ、第二ニハ七月以降ニナレバ普通ノ農家ガ米ヲ持ッテ居ラヌ時デアアル、商人或ハ大地主ノ手ニハアルカモ知レマセヌガ、一般農家ノ手ニハ米ガナイ時ダト云フ考ト、米ガ著シク騰ツテ來マシタ爲ニ、政府ノ持ッテ居ル米ヲ百萬石賣出シタト云フ事實ハ、現ニ昨年アルデハアリマセヌカ、併シ原君ノ如ク從來ト雖モ一千萬石貯藏シテ居ルト云フコトガ、私共ノ今度ヤリマス當年ノ端境期マデハ之ヲ縛ッテ賣出サレヌト云フ、其艱ノ貯藏トハ違ヒマス、若シ當年ノ端境期マデハ此度ノヤツタ施設デナクとも、從來モ習慣ガアルト仰シヤルナラバ、去年ノ七月、八月頃ニ於テ一般市場ニ賣買セラルベキ米ノ供給ガ減ツテ、著シク消費者ニ脅威ヲ生ズルト云フ傾ガ生ジタ場合ニ、政府ガ賣出ス必要ガナクッタノデアリマス、左様ナ時ハ原君御話ノ如ク一千萬石ノ貯藏ガアルデハナイカト云フノデアリマスガ、ソレガ無クナルノデアリマス、此度米價ヲ調節スル爲ニ之ヲ端境期マデ抑ヘルト云フ、艱ノ貯藏ノ爲ニ三千萬圓ヲ出シタノデアリマシテ、

從來慣行デヤッテ居ル艱貯藏ハ夏頃ニナレバ賣出サレルモノガ多イ、此區別ヲ一ツ御考ニナレバ宜カラウト思フ

○原委員 私ノ御尋シテ居ル點ハ、獎勵シテモシナイデモ、今言ウタ一千萬石ナラ一千萬石ヲ——農林大臣仰セノ如ク一千萬石ト致シマス、サウ云フモノガアルノニ、此低利資金ヲ利用シテ特ニ安ク金ヲ貸シテ獎勵スルノダト云フ區別ト、其低利資金御利用ノ結果五百萬石殖エル、其貸付ケルコト、獎勵スルコトハドウ云フ區別ガアルノデスカ、之ヲ御尋致シマス

○町田國務大臣 再三申シマスガ、低利資金三千萬圓ヲ與ヘテ農家ニ艱貯藏ヲサセルト云フコトハ、當年ノ作合ヒヲ見ル端境期マデハ市場ニ賣出サズ之ヲ賣出スト米價維持ノ上ニ效果ガナクナリマスカラ、端境期マデハ一切賣出サヌコト、シ、市場ノ供給以外ノ艱ノ貯藏デアリマス、原君ノ一千萬石ト云フモノハ、何レノ場合デモ農家ノ都合デ市場ニ賣出スコトノ出來ル艱ノ貯藏デアリマス

○東郷委員 今ノニ關聯シテ御尋致シテ置キタイ、先程來原君ノ御尋ニ對シテ御答辯ガアリマシタガ、尙ホ私ハハッテ御尋置キタイト思ヒマスカラ、之ニ關聯シテ御尋致シマス、先程モ御話ガアリマシタヤウニ、吾々ガ頂戴シマシタ表ハ、是ハ政府ノ御計畫ヲ其儘御現ハシニナッタ表ナンデアアル、デスカラ政府トシテハ是ダケノモノハ各府縣デ實現ガ出來ルト云フ御見込デ御計畫ニナッテ居ル、三千萬圓ノ低利資金ヲ融通シテ艱ノ貯藏ヲサセルト云フ御計畫ナノデアリマスガ、此御計畫ハ至極結構ダト思ヒマス、結構ダト思ヒマスガ、内容ニ立行ッテ考ヘテ見ルト、中々政府ノ御考通リ是ガ進ンデ居ナイコトモ、先程來ノ質問應答ニ依ッテ窺知ルコトガ出來マス、ソコデ政府ノ方デハ刻々府縣知事カラ其成績現狀ハ御報告ニナッテ居ルコト、思ヒマスガ、現在ニ於テ此計畫ガドレダケ實現サレテ居ルカ、ソレノ現在ノ御集計ハ御示ヲ願ヘナイデセウカ

○石黒政府委員 低利資金ヲ以チマシテ融通致シマシテ、色々計畫ヲ致シマスコトニ付キマシテハ、ドノ内閣モヤルノデアリマス、サウシテ私共ノ事務ノ方ノ側カラ見マスト、何時モ割當ヲスルト直グ實際ノ貸付ハドウデアアルカト云フコトヲ御責メニナルノデ、前ノ内閣ノ時ニハ養蠶應急資金ニ對シ、米作應急資金ニ對シテ、民政黨ノ側カラ幾ラ貸シタノダト云フコトヲ責メラレテ、東サンナンカモ大分御困リニナッタヤウナコトモアルノデアリマス、十二月ニ出シタノヲ直グ幾ラ貸付ケルト云

フコトヲ申上グルダケニハ進ンデ居ナ
イノデアリマス、預金部ノ委員會デキ
メマシテ、ソレヲ十二月ニ割當ヲ致シ
マシテ、銀行ニ對シテ融資ヲ致シマシ
テ、銀行ガソレヲ貸付ヲ致シマス云
フマデニハ中々手間ガ取レル、大急ギ
ニヤッテモ中々手間ガ取レル、併ナガラ

ソレニ對シテ三千萬圓ノ供給ヲ致シタ
ノデアリマスカラ、無論是ダケノ額ハ
融通スルコトガ出來、サウシテソレハ
確實ニ十月後マデ持越スト云フ條件ニ
合ッタモノニ付テ貸ス、斯ウ私共ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス

事カラ要求シテ來タ八千萬圓ト云フノ
ハ、政府デ御計畫ノ場合、オ前ノ縣デハ
ドノ位要求シテドノ位貯藏ガ出來ルカ
ト云フ、豫定ヲ御取リニナッタ時要求シ
テ來タ金ヂヤナイデスカ

モノヲ御示シ下サイマセヌガ、是ダケ
ノコトハ御分リニナッテ居ルダラウト
思フ、詰リ今御話ノヤウニ、四千九百萬
圓要求シテ來タガ、ソレダケハ融通ス
ルコトガ出來ナイ、所謂三千萬圓バカ
リヲ各府縣ニ適當ニ政府デ、割振リニ
ナッテ、ソレヲ御通知ニナッタ、ソレニ
依ッテ各府縣ガ愈々貯藏ノ獎勵ト云フ
コトニ著手シタ筈ダと思ヒマス、サウ
スルト著手後ノ之ニ對スル模様ハ、刻
刻報告ガアルモノ思ハレマスガ、此報
告ノ結果ハ如何デアリマスカ、御想像
ノ通り旨ク行キサウデアリマスカ、ソ
レトモ非常ニ困難デアリマスカ、此模
樣ヲ承ルコトハ出來マセヌカ

政府ガ之ニ對シテ預金部ノ低利資金ヲ
出スト云フコトニナリマスレバ、銀行
ハ其條件ニ合フモノニ對シテハ、自己
資金ヲ以テヤッテ居ルモノヲコナラノ
方ニ向ケルコトニ付テハ、異存ハナイ
ノデアリマス、ソレガ順次ニ廻ッテ行ク
ノデアリマス、ソコデ原サンノ御話ノ
ヤウニ、普通ノ年ト雖モ相當貯石ト云
フモノハヤッテ居ルト云フコトニハ、私
共ハ異存ハナイノデアリマス、其中デ
此條件ニ合ッテ、十月ヲ超エマシテマデ
モ貯藏ヲスルコトニシテ宜シイト言ッ
タモノハ、コナラノ方ニ變ッテ參リマ
ス、ソレハ只今刻々進行中デアアル、相當
ノ額ニ達シマス取纏メテ報告ハヤッ
テ參リマスガ、十二月ニ出シマシタモ
ノヲ、今向フカラ報告ヲ取ルト云フ時
期ニハ達シテ居リマセヌ、併ナガラ各
府縣知事ガ責任ヲ以テヤルト云フコト
ヲ申シマシテ、サウシテ融通ヲ要求シ
テ來ル大體ノ總計ノ額ハ、殆ド三千萬
圓ノ倍六千萬圓デアリマシタカ、或ハ
八千萬圓デアリマシタカと思ヒマス、

上ゲマス、東郷サンノ今實際ノ穀貯藏
ガ幾ラニナッテ居ルカト云フコトハ、知
事ノ責任ヲ以テヤルノデアアルカラ、確
信ハ致シテ居リマスガ、同時ニ私ガ先
刻原君ニ御答シタ通りニ、預金部ガキ
メヌ前ニモ之ヲ進行サシタイト云フ考
ヲ以テ、中央金庫、又ハ勸業銀行ニ穀貯
藏ト云フコトニ對シテ一時融通ヲシテ
呉レト云フ懇談ヲシタト云フ風ニ申シ
マシタガ、後程更ニ報告ガアリマセウ
ガ、御參考ノ爲ニ只今調べタ所デ、中央
金庫ガ穀貯藏ニ對シテ低利資金トシテ
政府ガ將來出スコトヲ豫測シテ、一時
立替ヘテ穀貯藏ノ爲ニ出シテ居ルノガ
千三百萬圓デアリマス、是ハ他日預金
部ノモノト代ルノデアリマスガ、中央
金庫ダケデ千三百萬圓ヲ穀貯藏ノ爲ニ
出シテ居リマシテ、其他勸業銀行、農工
銀行等カラ報告ヲ得マシタラ御知ラセ
シマスガ、政府ガ出シテ居ッテ進行中ノ
モノ以外ニ、是ガ相當ニ進ンデ居ルト
云フコトヲ御參考ノ爲ニ申上ゲマス

○石黒政府委員 只今御尋ノ通りデア
リマシテ、私ノ六千萬圓デアッタカハ
千萬圓デアタカ、大キナ金額ヲ要求シ
テ參ッタト申シマスノハ、府縣知事ニ宛
テマシテ農林大臣カラ穀又ハ玄米ノ貯
藏ヲ極力ヤルヤウニト云フ獎勵ヲシテ
貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申シマシタ
際ニ、自分等ノ地方トシテモ、此必要ヲ
認メテ居ルカラ是非ヤリタイト云フノ
デ、此見込ノ數量ヲ儘カ七百萬石デア
リマシタカ、八百萬石デアリマシタカ、
言ッテ參ッタノデアリマス、此際ニ同時
ニ資金ノ融通ガアレバ、非常ニ好都合
デアルト云フ意味ヲモ申シテ參ッタノ
デアリマス、ソコデ愈々此低利資金ヲ昨
年ノ暮ニ融通スルコトニ預金部委員會
ガ決定致シマシテ、各地方カラ資金ノ
申込ヲスルヤウニ通牒致シマシタ、當
時ノ數字ガ今正確ニ分リマシタガ、各
府縣カラノ要求額ハ四千九百萬圓ト云
フコトニナッテ居リマス

○石黒政府委員 今日ダケ貸出シタ
ト云フヤウナ貸出ノ報告ヲ刻々致スト
云フコトニナッテ居リマセヌ、隨テ刻々
報告ハ受ケテ居リマセヌガ、併シ是ダ
ケハ是非欲シイト言ッテ來テ居ルノデ
アリマス、此金額ハ相當多量ナノデア
リマスカラ、無論順調ニ進行シテ居ル
モノト考ヘルノデアリマス、報告ハ何
等得テ居リマセヌ

○東郷委員 先程政府委員ノ御話ノ知
レハ無理ダト云フノデ、私ノ要求スル

○東郷委員 政府委員ハサウ十二月ニ
ヤッタモノヲ、今直グ幾ラ出來テ居ルト
云フヤウナコトヲ御聞キニナッテモ、ソ
レハ無理ダト云フノデ、私ノ要求スル

○東郷委員 ソレヂヤ已ムヲ得マセヌ
カラ、一寸私地方問題ニナッテ恐縮デア
リマスガ、實例ヲ舉ゲテ御尋ヲ致シマ
ス、一月三十一日ノ鹿兒島新聞ニ――
私ノ郷里ノ方デアリマスガ、此模様ガ
書イテアリマスカラ、御參考ニ申上ゲ

○東郷委員 先程政府委員ノ御話ノ知
レハ無理ダト云フノデ、私ノ要求スル

テ御尋シマスガ、斯ウ云フ見出ノ新聞記事ガアリマス「一向歡迎サレヌ叔貯藏資金、縣デハ第二次獎勵」斯ウ云フ見出シデ、鹿兒島縣ニ於ケル叔貯藏ニ對スル實情ガ書イテアリマス、ソレハ斯ウ云フヤウナ意味デアリマス、本縣ノ叔貯藏獎勵資金ノ配當ニ關シ、縣デハ三十日——詰リ一月三十日午前十時ヨリ會議所ニ於テ縣農會及ビ產業組合聯合會側モ出席シテ打合會ヲ開イタガ、現在マデニ到著シタ縣下ノ各町村農家ノ資金借入希望者、政府資金ニ依ルモノガ叔三千俵、玄米四千九百俵、金額ガ四萬六千九百圓、ソレカラ政府資金以外ノモノ叔一萬俵、玄米七千八百十八俵ニ過ギナイト云フ申込額僅少デ、一般氣乗薄ノ爲メ申込各組合ニ對スル割當ハマダ決定スルニ至ラズ散會シタガ「ト書イテアル、其後モウ二十日モ經ッテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フコトハナクナッタカモ知レヌガ、何シロ前月末日マデハサウ云フヤウニ非常ニ申込ガ少ク、鹿兒島ノ割當ノ金高ハ御示ニナッタ表ニ依リマシテモ四十三萬四千圓、ソレカラ數量ガ七萬石、斯ウ云フコトニナッテ居ルノニ對シテ、今見タヤウナ申込デ、各町村ニ割當ガ出來ナイデ散會シテシマッタ、斯ウ云フ實狀デアルヤウデアリマス、次ニ「サウ云フ風ニシテ纏マラヌデ散會シタガ、縣デハ

取敢ヘズ本省ニ宛テ、現在マデノ申込額ト併セテ政府資金希望簿ノ原因トシテ長期貯藏ヲ條件トスルコト、米價低落ノ場合ニ於ケル損失ノ補償ナキコト及ビ政府買上米ニ對スル農家ノ迷惑等ヲ舉ゲテ報告スルト共ニソレダケノモノヲ報告シタ、ト書イテアル、此成績ノ不良ナ原因トシテハ長期貯藏ヲ條件トスル、先程政府委員ノ御話ノヤウニ、端境期ヲ越スマデ貯藏シナケレバナラヌ、是ハ農家ニ取ッテハ重大ナル條件デアリマス、ソレカラ米價低落ノ場合ニ於ケル損失ノ補償ガナイ、端境期マデ貯藏セヨ、低利資金ハ貸シテヤルト云フガ、併ナガラ端境期ヲ越シタ後ノ米價ガドウナルカ分ラナイ、是ガ非常ナ低落デモスルト損失ヲスル、其損失ニ對シテ何等ノ補償ガナイト云フコト、ソレカラモウ一ツハ政府ガ何レ又第二次、第三次ノ買上ヲサレルデアラウト云フコト、之ニ對スル農家ノ迷惑等ヲ舉ゲテ報告ヲシタ、斯ウ書イテアリマス、是ハ新聞ニ書イテアルノデアリマスカラ、農林當局ハ此報告ヲ受ケテ居ルコト、思ヒマス、ソレト共ニ一方各郡ノ農會長及ビ產業組合郡部會長宛更ニ第二次獎勵ノ決定方ヲ督勵スルコトニナッタ、斯ウ云フ旨ノ新聞記事ガアリマスガ、是ハ鹿兒島縣一縣ノ實例ニ過ギマセヌケレドモ、此記事ノヤウナコトハ單ニ鹿兒島縣ダケデハナイ、此三千萬圓ノ低利資金融通、叔ノ貯藏獎勵ト云フ此御計畫ノ全豹ヲ窺フニ非常ニ良イ記事デハナイカト思ヒマシタカラ、私ハ此記事ヲ取ッテ置キマシタ、サウ云フ譯デアリマスカラ、吾々ハ十二月ニ此計畫ヲサレテ直グサウ之ガ全部行クモノデハナイト云フ、事務的ノ御話ニハ御同情申上ゲマス、併ナガラ是デドレダケノモノガ出來ルカト非常ニ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ此事實ヲ御否認ニナリマスカドウカ、大體他ノ府縣デモ斯ウ云フコトデハナイカト思ヒマス、即チ成績ノ惡イ府縣ハ斯ク——ト云フコトニ對シテ、農林當局ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、ソレヲ承ッテ置キタイ

○石黑政府委員 鹿兒島ノ具體的事柄ニ付テノ新聞記事ヲ御讀上ゲニナリマシタガ、多分其通りデアラウト思ヒマスケレドモ、私其報告ハマダ承知シテ居リマセヌ、恐ラク來テ居ルコト、存ジマス、其他ノ地方ハドウカト云フコトデアリマスガ、其他ノ地方ニ付テモ一二來テ居ル所ガアルカモ知レマセヌガ、マダ取纏メル程度ニナッテ居ラヌト思ヒマス、私ガ地方長官ノ一人カラ聽イタ所ニ依リマス、是ハ非常ニ結構ナ融資デアルケレドモ、十月ヲ越エテ貯藏スルコトガ如何ニモ困ル、困難ダス

ト云フヤウナコトヲ言フ向モアル、故ニソレヲ何トカ緩和シテ貰ヘマイカ、貸付ノ條件トシテ十月ヲ越エルマデ貯藏スルコトノ條件ガ人ニ依ッテハ困ル場合ガアル、ソレヲ緩和シテ貰ヘナイカト云フ話デアッタノデアリマスガ、サウスルナラバ先程來屢原サンアタリカラノ御議論ガアリマシタヤウニ、普通ノ年ノ貯藏ト何モ違ッタコトガナクナッテシマフ、三千萬圓低利資金融通ト云フコトハ、其處ニ特殊ノ條件ガ附イテ居ルト云フコトデ初メテ特殊ノ貯藏ニナルノデアリマス、是ハ農林大臣ガ繰返サレタ通りデアリマス、故ニ此條件ハ撤回スルコトガ出來ナイ、此條件ニ當ル者ガアナタノ縣ノ中ニモ相當多クノ數量ヲ貯藏スルト云フ見込ガアルノデアルカラ、其中ノ割當額位ハ條件ニ合フモノガアルニ違ヒナイト思フ、困ル人ノ分ハ取ラナクテモ、條件ニ合ッタ者ダケデモ十分融通シ得ルコトト思フカラ、ソレヲ極力ヤッテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ私ガ答ヘタコトガアルノデ、サウ云フ縣モ二三アリマスガ、多クノ縣カラハ只今マデ左様ナコトヲ申シテ參ッテ居リマセヌ、此點ハ三千萬圓ノ融通ト致シマシテハ緩和スルコトノ出來ナイ條件ダラウト考ヘテ居リマスカラ、左様ニ返事シテ居ル次第デアリマ

○東郷委員 今私ノ御尋シタ趣旨ニ副

段困ッテ來ル、吾々ハサウ云フヤウナモ

萬六千石アルノデアリマス、是ハ三千

○原委員 二度目ノ農林大臣ノ御答デ

フ御答辯ハナカッタ譯デ、甚ダ遺憾ニ思

ノヲ出來秋ニ大ニ救済シテ行クト云フ

萬圓低利資金ヲ用フル以外ノ方法ヲ以

シマシタガ、能ク分リマシタ、ソレデ御

ヒマスガ、結局斯ウ云フコトニナルノ

コトガ、米價對策ニ特ニ力ヲ注ガナケ

テ各府縣ガヤッテ呉レル、獎勵金並利子

尋ルガ、サウスルト端境期マデ持越

デハナイカト思ヒマス、三千萬圓ヲ特

レバナラヌ要點デアルト思ヒマスガ、

補給ノ端境期ニ至ル叔貯藏ノ方法デア

シタナラバ、必ズ今言フ通りノ損失ガ

ニ融通サレルコトハ、從來ノ一般貯藏

サウ云フヤウナ意味カラ行クト、是ハ

リマスカラ、三千萬圓ヲ合セテ叔貯藏

起ルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ

ト違ッテ、端境期ヲ持越シテ行クト云フ

殆ド效果ガナカッタ、故ニ是カラ段々貯

ノ成績ハ、御心配下サルヨリ存外ニ私

於ケル損失ハ御認ニナッテ居ルノデア

條件ダカラ、此資金ヲ融通シテ行クノ

藏セシメルト云フコトデアレバ、是ガ

共ハ多イモノト確信ヲ致シテ居ルノデ

リマスカ、御認ニナラナイノデアリマ

デアル、是ハ御尤ナ御話デアリマスケ

ナクテモ從來自ラ貯藏シ得ルヤウナ餘

アリマスカラ、餘リ深キ御心配ノナイ

スカ

レドモ、單ニ低利資金ノ融通ヲ受ケタ

裕ノアル者ハ、地主階級其他自作ノ一

ハサウ云フヤウナ例ガアッタカモ知レ

○町田國務大臣 端境期ヲ越シタ時ニ

ダケデハ、米價ノ大暴落ヲ來シ、經濟界

部分デハナイカ、斯ウ思フノデアリマ

マセヌガ、新聞ノ記事ヲ皆一々信用ス

シタ爲ニ、却テ困難ヲセヌカト云フ意

ニ非常ナル變動ガアル此場合ニ、端境

シテ、之ヲ考ヘテ見ルト三千萬圓融通

ルコトモ出來ナイト思ヒマス

味ノ御尋ト思ヒマスガ、東郷サンノ御

期ヲ越シテ翌年度マデ持越シテ、尙ホ

ノ特別ナ御計畫ト云フモノガ、其内容

ニ於テハ極メテ空疎ナモノニナルヤウ

心配モソコニアラウト思ヒマス、私共

米ノ値ガ現在ト同等——同等ト云フコ

ナ氣ガ致シマスガ、政府當局ハドウ云

ソレハ既ニ實現シタ數量デゴザイマス

モ其點ハ相當考慮致シマシタ、其場合

他ノ費用ヲ差引イタ價格ガ、現在賣拂

フヤウニ御考ニナッテ居リマスガ、其點

カ、豫定シタ數量デゴザイマスガ

ニハ當年ノ第一回ノ收穫豫想、第二回

フ値ヨリモ有利デ損ヲシナイト云フコ

ダケヲ伺ッテ置キマス

云フ方法ヲ以テサセルト云フ報告ヲ得

テ居ルノデアリマス

トデナケレバ、其處ニ非常ナ不安ガ伴

○山田政府委員 私カラ申上ゲマス、

叔貯藏ノコトニ付テ色々御心配下サレ

テ居ルノデアリマスガ、三千萬圓ノ融

モ此處ニ在ルト新聞ニモ書イテアルヤ

資ノコトハ別ニ致シマシテ、各府縣ニ

ウカ

○東郷委員 ソレハ積リデゴザイマセ

ウデアリマスガ、此點ニ付テハ帝國農

對シマシテ、農林省ヨリ農家自力ヲ以

テ或ハ府縣ニ多少ノ援助ヲセシメテ、

○山田政府委員 無論ソレ、ノ機關

ガ必要デアルト云フコトヲ頻ニ農林當

局ニ陳情サレタヤウデアリマスケレド

談ヲ致シマシテ、斯ウ云フ方法ヲシテ

ヲ通シテ、産業組合ナリ農會ナリニ相

モ、ソレガ實現サレナカッタノデアリマ

カラ、色々話合ヲ致シタ結果、府縣ニ於

テ三千萬圓ノ低利資金以外ニ、利子ノ

フ當事者ノ請合カラ、此方法ガ參事會

ス、是等ガ非常ニ成績ノ擧ラナイ主ナ

補給ヲ致シマシテ、ソレデ貯藏ヲ致ス

ナリ府縣會ノ議ヲ經テ利子補給ヲヤッ

テ居ルノデアリマスガ、決シテ架空

ル原因デハナイカト思ヒマス

ト申出テ居リマスモノガ、二百九十八

萬五千石アリマス、ソレカラ獎勵金ヲ

ノ計畫デハナイノデアリマス

ソレカラモウ一ツハマダ割當ノホン

出シマシテ、地方デ端境期マデ貯藏ヲ

セシムルト申出テ居ル數量ガ千二百九

マ

ノ一部分シカ實現サレナイト云ッタヤ

ウナコトデ、出來秋ノ資金ノ餘裕ノナ

○東郷委員 此程度ニ止メテ置キ

左様ナ心配並ニ左様ナ損失ガナイヤウ

ナ對策ヲ講ジナケレバナラヌト思ヒマス、御承知ノ通り平年作デアリマスレバ、極ク對策ハ樂デアリマス、併シ昨年ノ如キ大豐作デアッタナラバ、今年以上ニ徹底的ナ米價對策ヲ講ジナケレバナラヌ、ソレハ端境期前後ニ於テ凡ソ立テマスカラ、御心配ノヤウナコトハナク、對策ヲ其時ニ講ズルコトハ勿論デアリマス

○原委員 私ノ言フノハ、損失ト云フモノヲ一切御認ニナルカ、御認ニナラヌカト云フコトヲ聞クノデアリマス

○町田國務大臣 損失ト云フノハ貯藏シテ居ル間ニ低利資金ヲ借りマシタ金利——倉敷ハ多クアリマスマイ、金利ガ主デアリマセウ

○原委員 値下リハドウデス

○町田國務大臣 値下リニ對スルノハ即チ來年度ニ當年ノ作合ニ依ッテ對策ヲ講ジマスカラ、十一月頃ニハ來年ニ對スル米價對策ガ出來マス、ソレニ依ッテ昨年ノ如ク大豐作ニ因リ米價下落スル虞レアリト云フ時ニハ、來年度ノ端境期マデニ對策ヲ講ジマシテ、其損失モ相當減ジ、若クハ損ヲナクスル方法ガ出來ヤウト思ヒマス、ソレハ來年ノ對策デアリマス

○原委員 私ノ言フノハ持越シタ米ノ損失ヲ聞イテ居ルノデ、ソレニ對スル損失ト云フモノガアル、或部分ニ對ス

ル對策トハドウ云フノデアリマスカ
○町田國務大臣 ソレハ當年ノ作合ヲ見ナケレバ本當ノ實行ノ對策ハ出來ル筈ハナイ、不幸ニシテ當年ガ平作以下ノ作合デアルトスレハ、或ハ貯藏シタコトガ損失デナク、利益ニナルカモ知レマセヌ、又當年ガ昨年ノ如キ大豐作デアッタナラバ、是ハ何ト考ヘマシテモ今採リツ、アル對策以上ニ、モット徹底的ナ對策ヲ講ジナケレバナリマセヌ

○原委員 若シ不幸ニシテ損失ガアッタナラバ、ドウスルカト云フコトヲ聞イテ居ル

○町田國務大臣 豫メ其損失ガ生ズルカ生ジナイカハ、當年ノ作合ガ豐作デアルカ、平年作以下デアルカト云フコトノ想像ヲ本ニシナケレバ生ジナイ

○原委員 現實ニ金利カ、倉敷カハ掛ッテ、少クトモサウ云フ問題ガ起ッテ來ルノデアリマスカラ、損ヲ想像シナイト云フコトハ斷ジテ出來ナイト思ヒマス、損ガアリ得ルカト言ヘバ、ナイトハ言ヘナイ、アリ得ルト云フ斷定ヲ吾

吾ハシテ行カナケレバナラヌ

○町田國務大臣 重ネテ同ジ事ヲ申上

タルヤウデアリマスガ、當年ノ作合ニ依ッテ利益ニナルカ損失ニナルカヲ見ナケレバナラヌ、隨テ當年ノ端境期ニ於ケル米價對策ハ大體ノ作合ヲ見ナケ

レバ立テラレルモノデアイ、私共トシ

テハ折角貯藏ヲサセマシタ爲ニ、非常ナ損失ヲ來スヤウナコトハ成タケ避ケル對策ヲ講ズルコトハ勿論デアリマ

ス
○原委員 私ノ申シテ居ルコトハ、損ガアリ得ルカ、ナイカト云フコトデ、少クモ損ト云フモノハ見越サナケレバナラヌト思フ、損ヲ見越サナラバ、果シテ銀行ガ持ツノカ、何處ガ持ツノカ、此問題ガ起ッテ來ルノデアリマス、併シ損ト云フコトヲ一ツモ見テオイデニナラナイト云フ法ハナイト思フノデアリマスガ、其損ヲ何處マデモ御假定ニナルノデアリマス

○町田國務大臣 ドウモ私ハ答辯ガ下手カ知レマセヌガ、只今御答シタ以上ハ當年ノ作合ヒヲ見ナケレバ、今年ノ端境期ニ於ケル米價對策ハ——想像ハ色々想像セラレマスガ、斯様ナル對策ヲヤルコトハ當年ノ作合ヒヲ見ナケレバ分カリマセヌ、併シ折角獎勵シテ自家ノ經濟カラ云ウテモ、單リ政府ニ頼ラズ、農家自體ノ責任ヲ以ッテ、此大豐作ニ依ッテ得タ所ノ分量ノ一部ヲ、凶作ニ對スル保險ノ意味ヲ以テモ農家自ラ

ガ貯藏スルガ宜カラウト云フコトガ、從來ノ美風ヲ獎勵スル意味デハ立テ、隨テ是ガ米價維持ニ大ナル效果ガアルト思フ獎勵シテ居リマス、若シ端境期ニ於テ損デアッタラドウスルカト

云フ、損デアッタラト云フコトハ結局當年ハ大豐作ダ去年ト同ジヤウナ場合ニ於テ初メテ想像シ得ラレルノデアリマシテ、豐凶ノ明カナラザル今日ニ於テ斯様ナ場合ハ如何ニスルカト云フ米價對策ハ今日具體的ニ立テ得ラレマセヌ、併シ左様ナコトガアッタ場合ニハ、昨年以上ノ徹底的ナ對策ヲ講ズルト云フコトヲ、此處デ言明致シテ置キマス

○原委員 併シ現實ニ銀行ナドハ、サウ云フ場合ニ於テハ損ヲスルト思ッタラ貸サナイカラ、アナタノ所謂三千萬圓ノ低利資金ノ云々ヲサレテ見マシタ所ガ、損ト云フヤウナコトヲ銀行ハ必ズ之ヲ見ルノデアリマスカラ、サウシマスト事實損シナイヤウニ、損ヲシタラ斯ウナルト云フ結論ガ付カナイ以上ハ、アナタガサウ云フコトヲ言レテモ

銀行ナドハ其貸出シヲシナイコトニナリハシマセヌカ、即チ損ヲ見タ時ハ斯ウナルト云フコトガ適確ニ保障サレナイ以上ハ、銀行ハ貸出サヌデアリマセヌカ、貸出サヌト云フコトニナッタラ低利資金ヲ運用スルト、斯ウ云フ大袈裟ナ五萬圓トカ何トカ仰シヤイマスケレドモ、現實ニ是ガ何等實行ノ能力ガナ

イモノダト云フコトニナル、去年ノ秋カラ今年ノ舊節季ニ掛ケテ農村ト云フモノハ此時ニ一番金ガ要ル、若シ是ガ商人ノ手ニハイッテハ、貯ヘテ見テモ商

人ノ手ニハイッテハ、貯ヘテ見テモ商

人ヲ保護スルコトニナッテ、肝心ノ農村ヲ保護スルコトニナラナイ、今ヤ此農村全體ニ於テ、現實ニ此二千萬圓ノ低利資金ヲ土臺ニシテ、是々斯ウ云フ實績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトノ、若シ證明ガ出來ルナラバ、ソレヲ御示シ願ヒタイ、ソレモ後ト月ノヤツヲ此月デ發表セイト云フコトハ無理カモ知レマセヌガ、昨年十一月カラ今マデ二月モ中頃ヲ過ギテ居ル此時ニ於テ、一ツモサウ云フヤウナ表ガ出セナイト云フ法ハナイト思フ、ソレニ今農林大臣ガ吾々ノ質問ニ對シテ、損ヲ見ナイトカ、サウ云フコトヲ仰セニナルト云フコトハ、實際上カラ言フテ實行不可能ノ何等ノ效果ノナイモノト云フコトガ明白ニナッ

他モ全ク安心シテ銀行ガ貸付ケラレルト云フヤウナ、確實ナル具體的對策ト云フモノヲ講ゼラレテ、サウシテ眞面目ニ低利資金ノ運用ヲセラレルト云フ以上ハ、モウ少シ眞面目ニ對策ヲ御考ニナルガ宜イノデアリマス

○町田國務大臣 今ノ御質問デ好イ機會ヲ得マシタガ、成程實際ノ統計ニ基ク數量ヲ只今此處ニ現ハスコトガ出來ヌト云フコトハ、私共モ遺憾デアリマス、實ハ今種々熱心ニヤツテ居リマシテ、ソレノ報告ヲ信賴シテ今進行中デアリマス故ニ、此計數ヲ今日直チニ御示シ出來ヌコトハ遺憾デアリマスガ、先刻私ガ申シタ通り、此低利資金ノ前ニ、中央金庫ノミニ依ッテ既ニ千三百萬圓ヲ糶ニ貸出シテ居ルト云フ此一事ニ徵シマシテモ、或ハ勸業銀行、農工銀行等ニ依ッテモ相當ヤツテ居リマスカラ、糶ノ貯藏ハ相當ニ進行シツ、アルト云フコトハ御想像出來ルト思ヒマス、ソレカラ農村ガ今日ノ不景氣ニ因ル米價下落ノ爲ニ打撃ヲ受ケテ居ルニ拘ラズ、糶貯藏ガ斯様デアラナラバ、一向農村救済ノ意味ハナサヌデハナイカト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、一部ハサウ云フヤウナ御批評ヲ下サツテモ、私ハ之ヲ甘ンジテ受ケマス、併シ此度ノ米價對策ハ及バズナガラ種々ナ苦心ヲ致シマシテ、第一ニハ外國米ノ輸入ヲ

制限シ得ラレルダケハ制限シテ、一方ニハ輸出ヲ出來得ルダケ圖ッテ此席デ今日ハ申シテモ宜ウゴザイマスガ、新聞ニハ五十萬石トアリマスガ、自分共ノ稍見込ガ付イテ居ル數ハ七十萬石ト見テ居リマス、今日此三箇月ノ間ニ早ヤ既ニ七十萬石ト云フ數字ヲ出シタコトハ、米價維持ノ對策トシテ相當ニ效果ガアッタモノデアリマス、ソレカラ一月二月ノ農民ノ納稅期ニアルニ拘ラズ、糶貯藏ガ進マヌナラバ一向效果ガナイデハナイカト仰シヤルガ、是モ一部ハ其御非難ヲ私ハ受ケマス、併シ農村ノ事情納稅ノ時期ヲ考慮シマシタガ故ニ、十二月カラ一月ニ掛ケテ僅ニ二箇月半ノ間ニ三百萬石ヲ買入レルト云フコトヲ茲ニ之ヲ斷行致シタコトハ、從來恐ラクアリマスマイ、屢、歷代ノ政府ガ米ノ買入ヲ致サレタコトモアル、甚シキニ至ッテハ農家ノ手許ニ米ノ無イ九月ニ於テ買ッタナド、云フ努力ヲサレタ内閣モアリマスガ、私ハ十二月一月ト云フ最モ納稅ニ農民ガ困ル時期ニ於テ三百萬石ヲ買入レタト云フコトハ、私共ハ相當ニ農家ノ苦痛ヲ考慮シツ、アルト云フコトヲ、私共ノ衷心ヲ御諒察下サルコトヲ希望致シマス

○風見委員長代理 一寸御諮リ致シマス、今日ハ中島鵬六君ノ告別式ガアリマスカラ、午後二時マデ休憩シタイト

思ヒマス

○東郷委員 一寸休憩前ニ御願致シマス、先程山田政府委員ガ御説明下サイマシタ各府縣デ利子ノ補給トカ、獎勵金ヲ交付シテ糶ノ貯藏ヲ御獎勵ニナツテ居リマス、大體數字ハ先程ノ御説明デ分リマシタガ、アレヲ府縣別ニシテ其内容ガ能ク分ルヤウニシテ、表ニ作ッテ御願ヲ致シマス、其方ガ分リ易ウゴザイマス

○風見委員長代理 ソレデハ午後二時マデ休憩致シマス

午後二時十分休憩

午後二時十五分開議

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○原委員 ソレデハ簡單ニ一二點申上ゲテ私ノ質疑ハ打切りマス、此條文ニ付テ少シ質疑シタイコトガアルノデアリマスガ、此改正法案ノ第四條中ニ「政府ガ帝國内ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ、米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲スハ米價ガ政府ノ告示シタル最低價格又ハ最高價格ヲ超エ低落又ハ騰貴シタル場合ニ限

ル」其處マデハ宜イガ、其但書ノ點ニ付テ疑ガアルノデアリマス、但シ米穀ノ買換、貯藏米穀整理ノ爲ニスル賣渡、輸入ヲ目的トスル米穀ノ買入及輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ノ場合ニ於テハ此

其實例ヲ御調べ下サレ、若クハ損失其

第五類第五號 米穀法中改正法律案(政府提出)外一件委員會會議錄 第六回 昭和六年二月二十日

ノ限ニ在ラズ」此條文ニ付キマシテ、先
ヅ本法ノ改正案ハ、農村ノ農民ノ利益
ヲ建前ニシテ、米穀法ノ改正案ガ出來
上ツタノデアリマス、之ヲ一口ニ言ウ
タナラバ、農民ノ立場ヨリ考ヘテ有利
ト御考ニナルヤ否ヤ、此事ニ付テ先ヅ
農林大臣ノ御考ヲ承リタイ

○町田國務大臣 モウ一遍其但書ノ條
項ト農民トノ利害ガドウト云フノカ、
ソコノ所ヲハッキリ一ツ……

○原委員 第四條ニ關聯シマシテ、全
體ノ意味合カラ之ヲ見テ、私ハ考ヘ付
イタノデアリマスガ、此米穀法改正案
ヲ農民ノ立場ヨリ考ヘテ、農民ガ有利
ニナルト御考ニナツテ居ルカ、消費者ガ
有利デアルカ、之ヲ先ヅ御伺致シマシ
テ、第四條ノ但書ノ所ヲハッキリ致シタ
イ、斯ウ云フノデアリマス

○町田國務大臣 詳シイ理由ハ政府委
員カラ申上グルコト、致シマシテ、大
體ノ御趣意デアリマス、私カラ申上
ゲマス、勿論一面ニハ生産者タル農民
ノ利益モ十分ニ考慮ヲ拂ッテデアリ
マス、同時ニ多數消費者ノ生活ノ上カ
ラモ同様ニ考慮ヲ拂ッタノデアリマス
○原委員 茲ニ私ハ此第四條ノ但書ト
前段トノ關係ヲ御聽致シタイノデアリ
マスガ、買入又ハ賣渡ヲ爲スノハ最低
價格又ハ最高價格ヲ超エ低落又ハ騰貴
シタル場合ニ限ル、斯ウアルノデアリ

マス、ソコデ問題ハ例外ノ場合ハ別ダ、
其例外ト云フコトハドンナ場合カト云
フト、買換ヲスル場合ヲ言フノダ、即チ

貯藏米穀整理ノ爲ニスル賣渡、斯ウ云
フ場合ニハ此最高價格又最低價格ト云
フコトニ據ラナイト云フコトガ書イテ
アリマスガ、整理ノ爲ニ賣却スルトカ
或ハ米穀ノ買換ト云フヤウナコトニナ
リマシタナラバ、最低價格、最高價格ト
云フモノ、サウ云フ價格ニ少シモ拘束
セナレズシテ、自由ニ出來ルト云フコ
トニナツタナラバ、結局スル所、整理賣
却ノ名義サヘ付ケバ、自由ニ賣渡ガ出
來ルノデハナイカト思フ、斯ウ云フコ
トハドウシテ整理賣却ト云フコトニ付
テ、價格ヲ限定セラレル所ノ關係ヲ確
然ト御定メニナルコトガ出來ルノデア
リマス

○荷見農林書記官 今御質問ニナリマ

シタ第四條ノ但書ノ規定デゴザイマス
ガ、ソレハ本文ト關聯致シテ居リマス
ノデ、御覽ニナレバ直グ御分リニナル
コトデアリマスガ、蛇足ヲ顧ミズ一言
申上ゲテ見マス、今回ノ米穀法ノ改
正ノ一ツノ要點ニナツテ居リマス所ノ、
調節ノ賣買ノ際ノ基準價格ト云フモノ
ヲ定メマシテ、ト云フコトガ第四條、第
五條ニ於テ書イテアルノデゴザイマス
ガ、第四條ノ本文ノ方ハ只今申上ゲマ
シタヤウニ、從來政府ガ、調節ノ爲ニ、

買入トカ、賣渡ヲ致シマスル場合ニハ、
大臣カラモ屢々御説明ヲ申上ゲマシタ
ヤウニ、大體ノ經濟事情ナリ其他生産
者ノ狀況、日々ノ狀況ト云フヤウナモ
ノモ、政府當局ハ考慮ニ入レテ決定ハ
致シタノデアリマス、ケレドモ、明確ナ
ル基準ガナカッタノデアリマス、其

基準ヲ定メルコトガ必要デアルト云フ
關係カラ、斯ウ云フ規定ガ出來マシタ
ノデ、此本文ノ方ハ基準價格ヲ確定致
シマシテ、其基準價格カラ外レマシタ
場合、詰リ最高價格ヲ超エテ騰貴致シ
マシタトカ、最低價格ヲ超エテ低落致
シマシタトカ、斯ウ云フ場合ニ、調節ノ
爲メ買入ナリ賣渡ナリヲ致スベキモノ
ダト云フコトヲ、書キマシタノガ本文
デゴザイマス、併ナガラ、調節ノ外ニ、
米穀法ノ第一條ノ規定ニモアリマスル
ケレドモ、詰リ調節ノ以外ニ、保存ニ惡
イ米ヲ、買換ニ依ッテ更新致シマス
カ、ソレカラモウ不用ナル貯藏米ヲ、整
理シテ行キマス、ト云フ場合ノ賣渡
ハ、是ハ基準價格ヲ割ツタ場合ヲ眼中ニ
置キマシテハ、目的ヲ達シマセヌコト
ニナリマス、此保管換トシテ行ヒ
マスル買換デアリマス、トカ、貯藏米穀
ノ整理ノ爲ニスル賣渡ト云フヤウナモ
ノハ、是ハ基準價格ニ關係ナシニ出來
ルト云フコトニ致シタノデアリマス、
ソレカラモウ一ツハ、此數量調節ニ關

係スルノデアリマス、ケレドモ、大體需
給推算ノ結果、内地ニ於ケル米ノ數量
ヲ以テマシテハ——内地ト申シマス中

ニ、勿論朝鮮、臺灣邊リモ含メテ考ヘル
ノデアリマスガ、サウ云フコトヲ眼中
ニ置キマシタ、需給推算ノ結果デハ、ド
ウシテモ不足致シマスヤウナ場合ニ
ハ、外國米ヲ買入レテ、數量ヲ補ハナケ
レバイカヌコトニナリマス、其外
國米ノ買入ヲ致シマスヤウナ場合ニ
ハ、外國米ニハ出廻期ガゴザイマス、カ
ラ、其出廻ノ時期ヲ逸セヌヤウナ時ニ
買フ必要ガアリマス、トカ、價格ノ騰貴
デアルトカ、低落デアルトカ云フコト
ニ關係シマセズニ、買入ガ出來ル、輸出
ノ場合デモ同ジク、此基準價格ニ據ラ
ズニ賣渡ガ出來ル、斯ウ云フコトヲ書
キマシタノガ、今ノ趣旨デゴザイマシ
テ、要スルニ基準價格デ調節シマスル
例外ヲ但書ニ書イタト云フダケノコト
デアリマス

○原委員 私ハ内容ヲ説明シテ吳レト

言ヒハシナイノデス、唯此但書ニ依ッ
テ、米穀整理ノ爲ト云ウテ、賣渡サヘス
レバ宜イト云フノデ、ドン／＼ト賣渡
スコトガ出來タトスレバ、結局標準ヲ
設ケタト云フコトガ、意味ヲ爲サナイ
コトニナル、サウ云フ名目ヲ付ケタラ
幾ラデモ出來ルコトニナルガ、サウ云
フヤウナ名目ヲ付ケルカ付ケヌカト云

フ區別ハ、結果サウ云フ風ニ、當局ガ勝手ニ付ケレバ、ソレガ皆整理賣渡デアリ、買換デアル、斯ウ云フコトニナルカラ、果シテ此前段ノ規定ニ對スル例外ノ場合デアルト云フコトヲ定メルニハ、モウ少シ的確ナル理由ヲ示シテ貰ハナケレバナラス、皆自由ニ、名前サヘ付ケレバ、買換ダ、整理賣却ダ、斯ウ云フコトニナリハシナイカ、ダカラサウ云フコトニ對シテ、如何ナル御考ガアルカト云フ、其制限、條件ヲ付ケルト云フ場合ヲ、モウ少シ明瞭ニ示シテ呉レ、斯ウ言ウタノデアリマス、農林大臣ガ御分リ下サルダラウト思ヒマスカラ、農林大臣カラ御答ヘ願ヒタイ

○町田國務大臣 原君ノ今ノ問題ハ、御承知ト思ヒマスガ、先以テ今マデヤリマシタ實例ヲ、農務局長カラ申上ゲマス、大抵御諒解ニナルト思ヒマスカラ、先ヅ今日マデヤッタ場合ノ實例ヲ申上ゲサセマス

○石黒政府委員 茲ニ但書ニ書キマシタノハ、只今大臣カラ御話ノアリマシタヤウニ、從來ヤツテ居リマシタル買換整理ト云フコトノ範圍ヲ出ナイノデアリマシテ、之ヲ以テ、自由ニ名前付ケテ、自由ニ最低、最高價格ニ頓著ナクヤルト云フヤウナ考ハ毛頭持ッテ居ラナイノデアリマス、從來ヤリマシタ場合ニ於キマシテ、政府ニ於テ品質ガ惡ク

ナツテ、最早貯藏ヲ致シテ置クコトガ甚ダシイ不利デアルト見タモノヲ、整理賣却スル、或ハ新米ト買換ヲ致シテ、或ル一定量ハ持ッテ居ナケレバナラス、今持ッテ居ル分ハ、古米ニナツテ居ルト云フヤウナ時ニ、新米ト買換ヲスルト云フヤウナ時ニ限ッテ居ルノデアリマサガ、サウ云フ場合ニ於テモ、尙モ且ツ米穀委員會ニカケマシテ、ソレノ諒解ヲ得マシテ、サウシテヤツテ居ルノデアリマス、同ジ方法ヲ以テヤルコトハ無論ヤルノデアリマス、又同ジ場合ニ於テ之ヲヤルト云フ考デアリマスノデ、何モ從來ノ方針ヲ變ヘテ、名義ヲ付シテヤルト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデアリマセヌ、又サウ云フコトハ、政府ノ責任上出來ナイコト、考ヘテ居ルノデアリマス

○原委員 從來ノヤリ方トハ變ッテ來ナケレバナラナイト私等ハ思ッテ居ル、何トナレバ此四條ノ前段ニ斯ウ云フ制限ヲ設ケタノデアリマスカラ、隨テ勢ヒ變ッテ來ナケレバナラナイ、ダカラ從來通り變リガナイト云フコトニナツタナラバ、前段ノ規定ハドウサレル御積リデアリマスカ

○石黒政府委員 前段ノ規定ハ原則ト致シマシテ之ヲ調節賣買ヲ致ス、賣ルニシマシテモ買フニシマシテモ、米價ノ調節ヲ致スト云フ場合ニ於テハ、此

本文ノ制限ヲ受ケルノデアリマス、ソレデアルカラ但書ノ方ガ變ッテ來ナケレバナラヌト云フヤウナ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、本文デ示シテ居リマスヤウニ、調節賣却ヲ致ス、調節買入ヲ致スト云フコトノ出動ノ基準ガ定タノデアリマス、品質ガ變ッタラ賣却ヲシテシマハナケレバナラス、或ハ一定數量ヲ持ッテ居ラナケレバナラヌガ、ソレハ古クナツタカラ買換ヲスル、斯ウ云フヤウナ場合ハ、是ハ最低最高ノ價格デ以テ制限ヲ致スベキ米價調節ノ賣買トハ違フノデアリマス、ソレハ從來通りノ方針デ行カウ、斯ウ云フノデアリマス

○原委員 米穀ノ買換ト云フコトハ是ハ資金充實ト云フ目的カラセラレル場合アルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ時ニ、例ヘバ資金ガ幾ラデモアルナラバ、其最低價格、最高價格ト云フヤウナモノガ、所謂基準價格ニ是ハ達シテ居ナイカラ、ソレヲ調節スルコトガ出來ルト云フ場合ハアリマスガ、御承知ノ通り資金ガ今ヤ殆ドナイヤウナ關係ニアリ、今カラ殖サレテモソレハ程度ガアル、ソレデアリマスカラ最低價格最高價格ト云フモノガ基準價格ニ來ナイ間ハ、幾ラデモ買換ヲシナイデジツト堪ヘラレルダケノ資金ガアレバ別デアリマス、サウデナイ以上ハ少クモ此但書ノ價格ニ依ッテ結局自由ニ整理賣

却ヲスル、買換ヲスル、斯ウ云フコトデドンノヤッタラドウナルカ、此但書ノ一ツノ制限ガアル以上ハ、必ズ此但書ノ例外規定ノ方ガ殆ド活用サレテ、前段ノ原則ト云フモノガ全ク意味ヲ爲サナイコトニナリハシナイカ私ハ斯様ニ考ヘマス

○町田國務大臣 大抵御分リデアラウト思ヒマス、私ハ法律上ヨリ出マシタ御意見ヨリモ實際上ノ事情ヲ申シマス、買換ノ場合モ整理賣却ノ場合モ、多クハ米穀委員會ニ諮ッテ居リマス、必ズシモ諮問案トシテ出サズトモ、慎重ニ考慮スル爲ニ、左様ナ場合ハ今日モ米穀委員會ニ諮ッテ居リマス、而シテ米穀委員會ノ構成分子ハ御承知ノ通りデアリマスガ、先年議會デ——若槻内閣ノ時ニヤカマシイ問題ガアリマシテ、米穀委員會ニハ議員ノ希望ヲ容レマシテ、農民ノ利益ヲ代表スル委員ヲ比較的多ク入レロト云フ當時ノ希望ガアリマシテ、今日モ消費者ノ利益ヲ代表スル人モアリマスガ、比較的農民ノ利益ヲ代表スル委員ガ多イノデアリマス、デアリマスカラ實際問題トシテハ原サシノ御心配ノヤウニ整理ニ名ヲ藉ッテデス、資金充實ノ爲ニ賣出スト云フヤウナコトハ實際問題トシテハ起リマセヌ、ドウゾ其邊ハ御安心ヲ願ヒマス

○原委員 此第四條ノ前段ヲ見マシ

テ、例へバ「輸入ヲ目的トスル米穀ノ買入」是ハ地方農村ヲ脅カスコトニナツテ、有ユル時ニ結局スル所農村苛メノ規定ニナツテシマツテ居ルノデ、即チ生産者ノ爲メ、農民ノ立場ト云フコトニ利益デアルト云フ規定ハ、此第四條ガ殆ト中心デアツテ米穀法改正ニナツタ骨子デアルト考ヘマスガ、此規定カラ見マシテ、農民ノ立場ノ利益ノ爲ニ改正サレタト云フコトハ第四條カラ乃至全體カラ見マシテ、一點モ農民ノ爲ニ本條ヲ改正サレタト云フ根據ヲ見出スコトハ出来ナイト思フノデアリマス、若シ農民ノ利益ノ爲ニ改正サレタノハ是ダト云フ所ガアツタナラバ、其改正案ノ内容ニ付テ御示ヲ願ヒマス

○石黒政府委員 法ノ改正ラドウ御覽ニナルカト云フコトハ御意見デアリマスカラ何トモ申上セラレマセヌガ、決シテ農民ノ利益ト云フモノヲ一ツモ見ナイデ規定ヲシテ居ルト云フコトハアリマセヌ、四條ノ規定ニ付テ今具體的ニ、外國カラ米ヲ買フ場合ヲ御舉ゲニナツテ、サウシテ代表的ニ御論ジニナツタノデアリマスガ、其直グ隣ニ、一例ヲ申上ゲテ見マス「輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ノ場合」ト云フモノハ、例ヘバ今年ノヤウナ時デ、非常ナ大豊作ガアル、併ナガラ米穀ノ値段ト云フモノハマダソレ程ニ下ツテ居ラヌト云ツタヤ

ウナ場合ニモ、之モ出サナケレバナラヌト云フコトガ數量上分ツテ居ルナラバ、出来秋ニ於テ既ニ十月頃カラ著手致シマシテ、外國賣却ト云フモノヲドシドシヤルヤウニナルト云フコトハ、是ハドウモ農民ノ利益ト云フモノヲ相當ニ考ヘテ居ルト云フ一例トシテ、同ジ條文ノ次ニ此事項ガアルノデアリマス、サウ云フ事ヲ十分一ツ御覽ヲ願ッテ御批評ガ戴キタイト思ヒマス

○原委員 大體ノ事ハ盡シタトシマシテ、農林大臣ニ最後のニ御伺シテ置キタイノデアリマスガ、今段々ト率勢米價ト云フ基準價格ヲ標準トシテ吾々ハ論ジテ來タノデアリマスガ、要スルニ率勢米價ト云フモノハ、物價指數ノ點ニ於テモ非常ナ疑ガアル、有ユル點ニ於テ缺陷ガアルト云フコトニナル、且ツ是ハ机上ノ論デ一ツノ統計カラ出シテ來タモノデ、机上ノ空論デアリマスカラ、生産費ハ全ク現實ノ國民生活ニ直面シタ問題デアリマス、隨テ此生産費ノ調査ト云フモノガ出来上ラナイ時ニ於テ、此机上ノ論デアル所ノ一ツノ統計カラ來タモノヲ土臺ニ此米穀法ヲ制定セラレルト云フコトハ、私ハ根本ニ於テ體ヲ成サナイト思ヒマス、デアリマスカラ如何ナル時ニ於キマシテモ、生産費ヲ度外シテ本法ハ成立タナイモノデアアル、斯様ニ考ヘマスニ付テ、生産費ノ調査ガ出来ルマデハ率勢米價ト云フ、今言フ机上ノ統計カラ來タモノデ、缺陷ハアルケレドモ、缺陷ノ程度ガ少ナイ程度ノモノダト云フノデ、此率勢米價ト云フモノデヤツテ行カウト、斯ウ仰セニナツテ居ルノデアリマス、デ私等ハ吾々國民生活ノ改善ノ爲ニ本法ガ出来上ルト云フコトニシマシタナラバ、生産費ノ調査ハ、二年モ三年モ向フニ出来上ルカ、ソレノ確定シタル時日モ明示ガナクシテ、基準價格ノ標準ハ、率勢米價ダケニ置イテ本法ヲ制定シヨウト云フコトハ私等ハドウ致シマシテモ、實際上ノ問題トシテ賛成スルコトガ出来ナイト思ヒマス、併シ農林大臣ハ是デ宜イト左様ニ御考ニナツテ居ルト云フノデアリマスルカラ、ドウモ致方ガナイト致シマシテモ、斯ウ云フ事ダケハ農林大臣ハ仰セ下サル譯ニ行キマセヌデセウカ、即チ机上ノ論ニアラズシテ、實際上ノ生産者、農民ノ生産費ト云フモノハ、如何ナル時デモ缺クベカラザルモノデアルト云フコトハ御認メ下サル譯ニハ參リマスマイカ

○町田國務大臣 御意見ハ能ク考慮ハ致シマス、併シ此統計ハ机上ノ空論ニ近イト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、左様デアリマセヌ、所謂三十三年以來ノ月々ノ實際ノ物價ニ依ッテ得タ指數、實際ノ米價ニ依ッテ得タル所ノ米價指數、之ヲ基トシテ、統計ヲ計算スルニハ机上デアリマシタ(笑聲)是ハ左様デアリマスガ、事實ハ實際ノ米價ニ依ッテヤツタモノデアリマス

ソレカラモウ一ツ、今マデ申上ゲナカッタノデスガ、此統計ハ成程完全デナイト云フコトハ私ハ申シマシタ、併シ是ハ御參考ニナルト思ヒマス、ソレハ、原君ノ如ク、物價指數ニ輕節ト米ト一緒ニ入レテ居ッテ、「ウエイ」ヲ入レテ居ラナカッタデヤナイカト云フコトデ、之ニ付テハ御同感デアリマス、私ハ完全トハ申シマセヌ、併シ茲ニ米價ノ指數ト、物價ノ指數ヲ以テ組合セタ時ノ米價ノ趨勢値ヲ見出シテ、ソコニ率勢米價ヲ見出ス時ニ、物價指數ノ中ニ米價ノ重サヲ加ヘテ居ラナカッタガ爲ニ、一層米價率カラ來ル利益ガ農民ニ出ルト云フ計算ニナルト云フコトダケハ、今マデ誰モ申シテ居ラナカッタガ、昨日來御了解ヲ得ル爲ニ、何ト申シタラ宜カラウカト工夫シマシテ、其一事ヲ申添ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマス、即チ今ノ物價指數ノ平均ニ、米ノ「ウエイ」ヲ加ヘテ居ラヌノハ、統計ノ上ニ面白クナイト云フ御議論ハ御同感デアリマス、唯々結果トシテ、其物價指數カラ米價ノ趨勢値ヲ見出シテ率勢米價ヲ見出ス場合ニ、物價指數ニ米ノ「ウエイ」ヲ入レテ居ラナイガ爲ニ出テ來タ

生生産費ノ調査ガ出来ルマデハ率勢米價ト云フ、今言フ机上ノ統計カラ來タモノデ、缺陷ハアルケレドモ、缺陷ノ程度ガ少ナイ程度ノモノダト云フノデ、此率勢米價ト云フモノデヤツテ行カウト、斯ウ仰セニナツテ居ルノデアリマス、デ私等ハ吾々國民生活ノ改善ノ爲ニ本法ガ出来上ルト云フコトニシマシタナラバ、生産費ノ調査ハ、二年モ三年モ向フニ出来上ルカ、ソレノ確定シタル時日モ明示ガナクシテ、基準價格ノ標準ハ、率勢米價ダケニ置イテ本法ヲ制定シヨウト云フコトハ私等ハドウ致シマシテモ、實際上ノ問題トシテ賛成スルコトガ出来ナイト思ヒマス、併シ農林大臣ハ是デ宜イト左様ニ御考ニナツテ居ルト云フノデアリマスルカラ、ドウモ致方ガナイト致シマシテモ、斯ウ云フ事ダケハ農林大臣ハ仰セ下サル譯ニ行キマセヌデセウカ、即チ机上ノ論ニアラズシテ、實際上ノ生産者、農民ノ生産費ト云フモノハ、如何ナル時デモ缺クベカラザルモノデアルト云フコトハ御認メ下サル譯ニハ參リマスマイカ

○町田國務大臣 御意見ハ能ク考慮ハ致シマス、併シ此統計ハ机上ノ空論ニ近イト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、左様デアリマセヌ、所謂三十三年以來ノ月々ノ實際ノ物價ニ依ッテ得タ指數、實際ノ米價ニ依ッテ得タル所ノ米價指數、之ヲ基トシテ、統計ヲ計算スルニハ机上デアリマシタ(笑聲)是ハ左様デアリマスガ、事實ハ實際ノ米價ニ依ッテヤツタモノデアリマス

ソレカラモウ一ツ、今マデ申上ゲナカッタノデスガ、此統計ハ成程完全デナイト云フコトハ私ハ申シマシタ、併シ是ハ御參考ニナルト思ヒマス、ソレハ、原君ノ如ク、物價指數ニ輕節ト米ト一緒ニ入レテ居ッテ、「ウエイ」ヲ入レテ居ラナカッタデヤナイカト云フコトデ、之ニ付テハ御同感デアリマス、私ハ完全トハ申シマセヌ、併シ茲ニ米價ノ指數ト、物價ノ指數ヲ以テ組合セタ時ノ米價ノ趨勢値ヲ見出シテ、ソコニ率勢米價ヲ見出ス時ニ、物價指數ノ中ニ米價ノ重サヲ加ヘテ居ラナカッタガ爲ニ、一層米價率カラ來ル利益ガ農民ニ出ルト云フ計算ニナルト云フコトダケハ、今マデ誰モ申シテ居ラナカッタガ、昨日來御了解ヲ得ル爲ニ、何ト申シタラ宜カラウカト工夫シマシテ、其一事ヲ申添ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマス、即チ今ノ物價指數ノ平均ニ、米ノ「ウエイ」ヲ加ヘテ居ラヌノハ、統計ノ上ニ面白クナイト云フ御議論ハ御同感デアリマス、唯々結果トシテ、其物價指數カラ米價ノ趨勢値ヲ見出シテ率勢米價ヲ見出ス場合ニ、物價指數ニ米ノ「ウエイ」ヲ入レテ居ラナイガ爲ニ出テ來タ

生生産費ノ調査ガ出来ルマデハ率勢米價ト云フ、今言フ机上ノ統計カラ來タモノデ、缺陷ハアルケレドモ、缺陷ノ程度ガ少ナイ程度ノモノダト云フノデ、此率勢米價ト云フモノデヤツテ行カウト、斯ウ仰セニナツテ居ルノデアリマス、デ私等ハ吾々國民生活ノ改善ノ爲ニ本法ガ出来上ルト云フコトニシマシタナラバ、生産費ノ調査ハ、二年モ三年モ向フニ出来上ルカ、ソレノ確定シタル時日モ明示ガナクシテ、基準價格ノ標準ハ、率勢米價ダケニ置イテ本法ヲ制定シヨウト云フコトハ私等ハドウ致シマシテモ、實際上ノ問題トシテ賛成スルコトガ出来ナイト思ヒマス、併シ農林大臣ハ是デ宜イト左様ニ御考ニナツテ居ルト云フノデアリマスルカラ、ドウモ致方ガナイト致シマシテモ、斯ウ云フ事ダケハ農林大臣ハ仰セ下サル譯ニ行キマセヌデセウカ、即チ机上ノ論ニアラズシテ、實際上ノ生産者、農民ノ生産費ト云フモノハ、如何ナル時デモ缺クベカラザルモノデアルト云フコトハ御認メ下サル譯ニハ參リマスマイカ

○石黒政府委員 法ノ改正ラドウ御覽ニナルカト云フコトハ御意見デアリマスカラ何トモ申上セラレマセヌガ、決シテ農民ノ利益ト云フモノヲ一ツモ見ナイデ規定ヲシテ居ルト云フコトハアリマセヌ、四條ノ規定ニ付テ今具體的ニ、外國カラ米ヲ買フ場合ヲ御舉ゲニナツテ、サウシテ代表的ニ御論ジニナツタノデアリマスガ、其直グ隣ニ、一例ヲ申上ゲテ見マス「輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ノ場合」ト云フモノハ、例ヘバ今年ノヤウナ時デ、非常ナ大豊作ガアル、併ナガラ米穀ノ値段ト云フモノハマダソレ程ニ下ツテ居ラヌト云ツタヤ

ウナ場合ニモ、之モ出サナケレバナラヌト云フコトガ數量上分ツテ居ルナラバ、出来秋ニ於テ既ニ十月頃カラ著手致シマシテ、外國賣却ト云フモノヲドシドシヤルヤウニナルト云フコトハ、是ハドウモ農民ノ利益ト云フモノヲ相當ニ考ヘテ居ルト云フ一例トシテ、同ジ條文ノ次ニ此事項ガアルノデアリマス、サウ云フ事ヲ十分一ツ御覽ヲ願ッテ御批評ガ戴キタイト思ヒマス

○原委員 大體ノ事ハ盡シタトシマシテ、農林大臣ニ最後のニ御伺シテ置キタイノデアリマスガ、今段々ト率勢米價ト云フ基準價格ヲ標準トシテ吾々ハ論ジテ來タノデアリマスガ、要スルニ率勢米價ト云フモノハ、物價指數ノ點ニ於テモ非常ナ疑ガアル、有ユル點ニ於テモ缺陷ガアルト云フコトニナル、且ツ是ハ机上ノ論デ一ツノ統計カラ出シテ來タモノデ、机上ノ空論デアリマスカラ、生産費ハ全ク現實ノ國民生活ニ直面シタ問題デアリマス、隨テ此生産費ノ調査ト云フモノガ出来上ラナイ時ニ於テ、此机上ノ論デアル所ノ一ツノ統計カラ來タモノヲ土臺ニ此米穀法ヲ制定セラレルト云フコトハ、私ハ根本ニ於テ體ヲ成サナイト思ヒマス、デアリマスカラ如何ナル時ニ於キマシテモ、生産費ヲ度外シテ本法ハ成立タナイモノデアアル、斯様ニ考ヘマスニ付テ、生産費ノ調査ガ出来ルマデハ率勢米價ト云フ、今言フ机上ノ統計カラ來タモノデ、缺陷ハアルケレドモ、缺陷ノ程度ガ少ナイ程度ノモノダト云フノデ、此率勢米價ト云フモノデヤツテ行カウト、斯ウ仰セニナツテ居ルノデアリマス、デ私等ハ吾々國民生活ノ改善ノ爲ニ本法ガ出来上ルト云フコトニシマシタナラバ、生産費ノ調査ハ、二年モ三年モ向フニ出来上ルカ、ソレノ確定シタル時日モ明示ガナクシテ、基準價格ノ標準ハ、率勢米價ダケニ置イテ本法ヲ制定シヨウト云フコトハ私等ハドウ致シマシテモ、實際上ノ問題トシテ賛成スルコトガ出来ナイト思ヒマス、併シ農林大臣ハ是デ宜イト左様ニ御考ニナツテ居ルト云フノデアリマスルカラ、ドウモ致方ガナイト致シマシテモ、斯ウ云フ事ダケハ農林大臣ハ仰セ下サル譯ニ行キマセヌデセウカ、即チ机上ノ論ニアラズシテ、實際上ノ生産者、農民ノ生産費ト云フモノハ、如何ナル時デモ缺クベカラザルモノデアルト云フコトハ御認メ下サル譯ニハ參リマスマイカ

○町田國務大臣 御意見ハ能ク考慮ハ致シマス、併シ此統計ハ机上ノ空論ニ近イト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、左様デアリマセヌ、所謂三十三年以來ノ月々ノ實際ノ物價ニ依ッテ得タ指數、實際ノ米價ニ依ッテ得タル所ノ米價指數、之ヲ基トシテ、統計ヲ計算スルニハ机上デアリマシタ(笑聲)是ハ左様デアリマスガ、事實ハ實際ノ米價ニ依ッテヤツタモノデアリマス

ソレカラモウ一ツ、今マデ申上ゲナカッタノデスガ、此統計ハ成程完全デナイト云フコトハ私ハ申シマシタ、併シ是ハ御參考ニナルト思ヒマス、ソレハ、原君ノ如ク、物價指數ニ輕節ト米ト一緒ニ入レテ居ッテ、「ウエイ」ヲ入レテ居ラナカッタデヤナイカト云フコトデ、之ニ付テハ御同感デアリマス、私ハ完全トハ申シマセヌ、併シ茲ニ米價ノ指數ト、物價ノ指數ヲ以テ組合セタ時ノ米價ノ趨勢値ヲ見出シテ、ソコニ率勢米價ヲ見出ス時ニ、物價指數ノ中ニ米價ノ重サヲ加ヘテ居ラナカッタガ爲ニ、一層米價率カラ來ル利益ガ農民ニ出ルト云フ計算ニナルト云フコトダケハ、今マデ誰モ申シテ居ラナカッタガ、昨日來御了解ヲ得ル爲ニ、何ト申シタラ宜カラウカト工夫シマシテ、其一事ヲ申添ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマス、即チ今ノ物價指數ノ平均ニ、米ノ「ウエイ」ヲ加ヘテ居ラヌノハ、統計ノ上ニ面白クナイト云フ御議論ハ御同感デアリマス、唯々結果トシテ、其物價指數カラ米價ノ趨勢値ヲ見出シテ率勢米價ヲ見出ス場合ニ、物價指數ニ米ノ「ウエイ」ヲ入レテ居ラナイガ爲ニ出テ來タ

所ノ結果ノ數字ハ、米ニ最モ重キヲヨ
リ以上ニ置イタト云フ結果ニナルコト
ダケハ御承知ヲ願ヒマス、サウナルト
思ヒマス

○原委員 ソレハ反對ダト思フノデ
ス、米ノ「ウエイト」ヲ例ヘバ高ク取ッ
テ、サウシテ五ト一ト云フ割合デ出来
タ其結果ハ、非常ニ米價率ト云フモノ
ハ高クナル、農林大臣ノ御考ハソレハ
間違ッテ居ル

○町田國務大臣 例ヘバ數學デ言フ
ト、實ノ割ルベキ物價ノ數ガ少クテ米
價ノ率ガ多イト云フナラバ、出タ結果
ハ率勢米價ガ高ク出テ來マスカラ、一
般物價ノ指數ニ米ノ「ウエイト」ガハ
イッテ居ラナケレバ一層米價率ガ高ク
ナルト云フコトハ數學デ當然出マス、
ソレデ餘程米ニ重キヲ置イタト御解釋
下サツテ宜シウゴザイマス

○原委員 是ハモウ何遍モヤッテ居ル
コトデスシ、私獨リデ占領スベキデハ
アリマセヌカラ、次ニ讓ッテ置キマス
ガ、私が先キ御尋シタ事デ簡單ナノデ
スガ、生産費ヲ考慮ニ置クト云フコト
ハ片時モ離スベカラザル必須ノ條件デ
アルト私ハ考ヘテ居リマスガ、其生産
費ハ二年ヤ三年ハドウデモ宜イト仰シ
ヤルノハ如何デアラウカ、生産費ト云
フモノハ片時ニモ離スコトガ出来ナイ
モノダト云フ御考ハアリマセヌカ、其

點ダケヲ御答願ヒマス

○町田國務大臣 此法ノ立テ方ハ生産
費ヲ昨日カラ條件トカ、要件トカ、要素
トカ云フ御話デアリマシタガ、米ノ買
入ノ場合ニハ生産費ヲ打割ッテ價格デ
アリハセヌカト云フコトニ向ッテハ十
分考慮シマス、三十三年以來今日マデ
經濟狀態ノ變化ニ從ッテ一般物價ノ變
化ガ生ジテ居ル、同時ニ米ノ價モ經濟
的關係、需要供給ノ關係、人口ノ増加、
食糧ノ充實等ノ關係ニ依ッテ相當動イ
テ居ル、其趨勢モ考慮シテ行クト云フ
コトハ昨日モ御話シマシタ、或ル場合
ニハ經濟狀態ニ依ッテ率勢米價ニ相當
重キヲ置カナケレバナラヌ場合モ生ズ
ル、又場合ニ依ッテハ生産費ニ餘程重
キヲ置イテ考ヘナケレバナラヌ場合モ
生ジテ來ル、何レガ重イ、何レガ輕イト
云フコトハ其時ノ狀態如何ニ依ルノ
デ、豫メ此間ヲ察知シテ何レニ輕重ガ
アルカト云フコトヲハッキリ原則トシ
テ定メラレヌガ故ニ、茲ニ二ツノ原則
ヲ掲揚スル結果ニナッタノデアリマス

○原委員 モウ宜シウゴザイマス
○西村委員長 東郷君
○東郷委員 我ハ色々質問ノ都合上昨
日モ申上ゲタヤウニ、總理大臣代理ニ
御出ヲ願ヒタイ、ソレデアリマセヌト
質問ノ進行上困リマス

○西村委員長 東郷君ニ申上ゲマス
ガ、總理大臣代理ハ明日此處ヘ出テ貫
フヤウニスルト云フ農林大臣ノ御言葉
デアリマス、兎ニ角今日アナタガ總理
大臣代理ガ出ラレヌケレバ質問ヲ進メ
ル譯ニ行カヌト云フコトナラバ、其次
ノ胎中サンニ御譲リヲ願ッテ農林大臣
ニ對スル質問ヲ繼續スルヤウニシタイ
ト思ヒマス

○東郷委員 議事進行ニ付テ申上ゲマ
スガ、先ヅ總理大臣ノ御出席ヲ願ヒタ
イ、ソレカラ大藏大臣、拓務大臣、尙ホ
出來ルナラバ朝鮮總督府ノ政務總監ニ
モ御出席ヲ願ヒタイ

○西村委員長 ソレデハ三十分間休憩
致シマス
午後二時五十分休憩
午後三時四十分開議

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續
イテ會議ヲ開キマス
○東委員 今日ハ東郷サンノ順位ダ
シ、總テノ順位ガアルノダカラ、私ハ
最後ニ通告シテアルノデスガ、他ノ諸
君ノ中ニモ皆色々質問ガアラウト思
フ、私ノ拓務大臣ト言ウタノハ、此委員
會ノ適當ナ時機ニ拓務大臣ニ是非出テ
貫ヒタイ、斯ウ云フ事ヲ申上ゲタノデ
アリマス、私ハ今日拓務大臣ニ質問ヲ
スルト云フコトヲ申上ゲタノデハナ
カッタノデス、ソレデ若シ他ノ諸君ノ中

ニ質問ヲスル方ガアレバ、他ノ諸君ニ
ヤッテ戴キタイト思フガ、ソレトモ今東
郷君ガ來テ見テドウ言ヒマスカ、東郷
君ハマダ出席ナイヤウデスガ、出席シ
テカラ後ニ致シタイト思フ、若シ東郷
君ガ質問ヲシナイト言フナラバ、幸ヒ
拓務大臣ノ出席ガアリマスカラ、私が
質問シテモ宜イト思ヒマス

○西村委員長 ドウデスカ、無論通告
ハ東郷サンガ前デアッテ、アナタハオシ
マヒニナッテ居ルノデスガ、幸ニ繰合セ
テ拓務大臣ガ見エタノデスカラ、アナ
タノ質問ヲ願ッテ、尙ホ拓務大臣ニ質問
ガアルカモ知レヌト云フ御話ガアツタ、
拓務大臣ニ質問ガアル方ダケハ此際濟
マセテ戴ケバ宜イト思ヒマス、ドウシ
テモサウ云フ風ニシテ戴カナケレバ、
總理大臣ガ來ネバ議ヲ進メヌト、斯ウ
云フ事ニナッテハ出ルマデ何日モ
ソナナ事モアリマスマイガ、イツマデ
モ待タネバナラヌト云フコトモ困ルノ
デス、折角御要求ニナッタ拓務大臣ガ見
エテ居ルノデスカラ、拓務大臣ニ對ス
ル質問ダケヲ此際御進メ下サタラ如
何デス——一寸速記ヲ止メテ……

○西村委員長 一寸休憩致シマス
午後三時五十分休憩
午後四時五十分開議

○西村委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、只今總理大臣ニ交渉致マシタラ、四時半ニハ出ルカラト言フコトデコサイマスカラ、四時半マデ休憩致シマス左様御承知ヲ願ヒマス

午後四時六分休憩

午後四時五十分開議

○西村委員長 是ヨリ休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○東郷委員 此特別委員會ハ申上ゲルマデモナク、米穀法ノ改正法律案ト、米穀需給調節ニ關スル特別會計ノ法律案ノ改正案、此二ツガ審議ニ掛ッテ居ル譯デアリマス、之ヲ極ク狭ク解シマスルト米穀問題ニ限ッタヤウナモノデアリマスケレドモ、今日ノ日本ノ國情カラ考ヘテ見マズレバ、國民ノ食糧ノ主要部ヲ占メ、又農業生産ノ最モ重要ナ位置ヲ占メテ、農村、農家經濟ニ洵ニ重大ナ問題デアルト云フヤウナ關係カラ見マスルト、此非常時ナ經濟界ノ混亂等カラ鑑ミテ見マシテモ、是ハ洵ニ重大ナ法案デアルト考ヘルノデアリマス、隨テ此改正法律案ヲ審議致シマスルニハ、何ヲ差措イテモ、モット根本ニ邁ッテ御願ヲシテ置クコトガ適切ダト思ヒマシテ、總理大臣代理ノオイデヲ願ッタ次第デアリマス、私ハ今日ノ日本ノ農村ノ困難ハ、是ハモウ疲弊トカ、困

憊トカ云フ境ヲ通り越シテ、所謂農業ノ恐慌、農村ノ恐慌、斯ウ云フ時代デアルト思ヒマス、之ヲ世界ノ農政史ニ顧ミマスレバ、前世紀即チ十九世紀ノ末期ニ於テ歐羅巴ヲ襲ッタ所ノ農業恐慌時代ト髣髴タルモノガアリマス、ソコデアノ十九世紀ノ末葉ニ於ケル歐羅巴ノ農業恐慌ハ、申上ゲルマデモナク、低廉ナ亞米利加其他ノ新開國ノ小麥ガドシ／＼歐羅巴市場ニ流入シテ來ル、サウ云フコトデ非常ニ穀類ノ價格ガ暴落シタ爲ニ、農業恐慌ヲ來シタノデアリマス、アノ恐慌ヲ救済スル爲ニ、歐羅巴各國ハ眞剣ナ努力ヲ致シタ、而シテ國ニ依ッテ自ラ其對策ガ違ッテ居ルノデアリマスガ、或國ハ非常ニ犧牲ヲ拂ッテ、內國ノ穀物栽培ヲ維持スルニ努メ、或國ハ農業ノ組織ヲ根本カラ變ヘテ、サウシテ農業ノ維持ニ努メ、又或ル國ハ全然サウ云フ事ヲシナクテ、遂ニ商工本位國ヲ立テ、內國農業ヲ非常ニ犧牲ニ供シテ、其結果ガ將來恐ルベキ禍ヲ貽シタ、斯ウ云フヤウナ事ニナッテ居ル、是ハ農政史上有名ナ事實デアリマス、恰度アノ時代ノ農業恐慌ヲ想ヒ、今日ノ日本ノ農業恐慌ノ實情ヲ考ヘルト、身顚ヒテ感ゼザレバ已マナイヤウナ氣持ガ致シマス

○幣原國務大臣 一寸御伺シマスガ、產業政策ノ根本方針ト云フノハドウ云フコトヲ御考ヘニナッテノ御質問デアリマセウカ、少シ私ハ御趣意ヲ能ク諒解シ得ラレナイノデスガ、トウ云フコトノ御話ナノデセウカ

○東郷委員 ソレデハモウ少シ例證致シマスガ、例ヘバ我國ノ實情カラ考ヘテ、產業ノ方針ハ商工業ニ重キヲ置イテ行ク、斯ウ云フ考ヘ方モアルダラウ、又農業ニ重キヲ置クト云フ考ヘ方モアルダラウト思ヒマス、或ハ商工立國トカ、農業立國、或ハ商工國デアルトカ、農業國デアルトカ、色々ナ言葉ガ使ハレマセウガ、ソレハ兎モ角モ、何處ニ重

キヲ置イテ我國ノ產業ヲ進メテ行クベキデアルカ、之ニ付テハ政府トシテハ御方針ガキマッテ居ナクチャナラヌ筈デアリマスガ、其根本ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○幣原國務大臣 非常ニムヅカシイ御質問ノヤウデスガ、今日日本ノ狀況ニ於キマシテハドウシテモ日本ハ農民ガ多數ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、農民ノ利益ヲ保護スルト云フコトハ當然考ヘナケレバナラヌ事デアラウト考ヘルノデアリマス、併ナガラ一方ニ於テ人口食糧問題ト云フヤウナ點ヲ考ヘテ參リマス、日本ハヤハリ將來ハ工業化シナケレバ、此人口食糧問題ニ付テ、中々困難ヲ生ズルダラウト思ヒマス、日本ノ土地ノ面積ヲ考ヘ、而シテ人口ハドン／＼殖エテ來ル、ソレガ海外ニドレダケ人間ヲ移住シ得ラレルカ、是モ毎年何十萬ト殖エテ來ル人間ヲ海外ニ移住セシムルト云フコトハ、到底出來ヌト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、結局是等ノ人々ニ對シテハ日本デ工業ヲ盛ニシテ、工業ノ發達ニ依ッテ、將來殖エテ來ル人口ノ食糧ヲ得ル方法、職業ヲ得ル方法ヲ考ヘルヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、ドチラニ偏スルト云フコトヲ申上ゲルコトハ非常ニ困難デアラウト思ヒマス、今日ノ狀況ニ於キマシテハ、只今申シタ通り日本ノ人口

ノ多數ヲ占メテ居ル、日本ノ農民ノ利益ヲ度外視スベキモノデナイト考ヘルノデアリマスガ、日本ノ將來ヲ考ヘテ見マスト、ヤハリ日本ヲ工業化スル必要ガ起リテ來ルダラウト思ヒマス、此點カラ言ヘバ寧ロ今日ハ過渡期デアリマシテ、今日ノ狀態ニ適應スル政策ヲ執ッテ行クヨリ外致方ガナイト考ヘテ居ルノデアリマス、提出シテ居リマスル米穀法ノ如キハ、現實ニ直面シテ居ル問題ニ對シテ、一部ノ解決ヲ與ヘントスル意味デアリマス、米穀ノ需給、價格ノ調節ト云フコトノ宜シキヲ得ザルガ爲ニ、農民ガ非常ニ困難ヲスル、ソレニ對シテ相當ノ政策ヲ講ズルト云フ精神ヲ以テ、此法律案ガ提出サレタ次第デアリマス

○東郷委員 總理大臣代理ノ御説明デス

大體ノ概念ヲ得マシタガ、要スルニ農民ノ保護ニ努メル、併ナガラ將來ハ工業ヲ盛ニシテ、サウシテ此増加人口ヲ、工業ヲ中心トシテ解決シテ行カナケレバナラス、大體斯ウ云フ御考デアルトノ御話デアリマス

ソレハ別ト致シマシテ、私御同致シタイト思ヒマスガ、私ハ日本ノ農村ガ先年來疲弊シタ、困憊シタト云フ叫ガ盛デアル、其通りデアリマスガ、其原因ガ色々アリマセウケレドモ、極ク根本ノ原因ハ過去ニ於ケル我國ノ政治ノ歩

ミ方——但シ現内閣トハ申シマセヌガ、過去ニ於ケル我國ノ政治ノ歩ミ方ガ餘リニ都市中心、商工偏重、日本ノ最近ノ文化的施設ハ殆ド大キナ都會ニ其主力ヲ傾倒サレタ、斯ウ云フコトデハナイカト思フノデス、其結果或ル一部ノ大資本家ナリ、或ハ大事業家ト云フ者ハ非常ニ發達シタガ、其半面ニ於テハ農業ガ思フヤウニ進展シナイ、都會ハ非常ニ繁榮シタガ、農村ハソレ程此文化ノ施設ニ惠マレナイ、斯ウ云ッタヤウナ弊害ガアツテ、是ガ我國ノ農村今日ノ疲弊ヲ來シタ根本ノ理由デアルヤウニ思ヒマスガ、是ハ今後私ノ質問ノ論旨ヲ述ベル上ニ於テ必要デアリマスカラ、總理大臣代理ハ私ノ此解釋ヲドウ御考ヘ下サイマスカ、御意見ヲ承リマ

○幣原國務大臣 洵ニ農村ガ疲弊ス

ル、サウシテ人間ハ皆都會ニ集中スルト云フコトハ、好マシクナイ傾向デアリマス、ケレドモ何處ノ國ノ實況ヲ見マシテモ、サウ云フ傾向ハ免レナイ事デアラウト思ヒマス、英吉利デモ、亞米利加デモ、私が在勤致シテ居リマス間ニ、度々サウ云フ聲ヲ聞イタノデアリマ

ス、ドウシテモ都會集中ニナリマス、之ヲドウシテ打破スルカト云フコトハ中困難ナ事ダラウト思ヒマスケレドモ、兎ニ角今日ノ現況ニ於キマシテ、田

園ニ働イテ居ル人達ガ追々都會ニ集中スルト云フ傾向ガアルト云フコトハ、是ハ明瞭デアラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ田園ヲ離レルコトヲ得ナイ、都會ニ集中スルコトヲ得ナイト云フ趣旨ヲ以テ對策ヲ講ジテ行クト云フコトハ、是ハ事實非常ニ困難デハナイカト私ハ思ヒマス

○東郷委員 私が御尋シタ事ハ所謂農民離村——農民ガ都會ニ集中シテ來

ルト云フ傾向ヲ御尋致シタノデハナイノデス、ソレハ一ツノ現象トシテハアリマスケレドモ、我國ノ農村ノ疲弊、農業ノ比較的進歩シナイ其半面ニ於テ都會ガ繁榮シ、而シテ商工業ガ非常ニ發達シテ行クト云フコトノ、其根本ノ原因ノ一ツハ、我國ノ從來ノ政治ガドウモ都會ニ重キヲ置キ、商工業ニ重キヲ置イテ、比較的ニ地方農村、農業ヲ輕シタト云フ結果ガ根本原因ノ一ツデハナイカト私ハ思ヒマスガ、總理大臣代理ハドウ御考ヘニナリマスカト、斯ウ云フコトヲ御尋致シタノデアリマス、御答ヲ願ヒマス

○町田國務大臣 總理大臣代理ノ只今

御答モアリマシタガ、實際農林省ガ責任ヲ以テ施設ヲ致シテ居ル問題ト關係ガアリマスルガ故ニ、大體ニ農業ニ重キヲ置クト同時ニ、商工業ニ對シテモ同様ニ施設、政策ヲ立テナケレバナラ

ヌト云フ、大體ノ御答辯ガ臨時總理カラアリマシテ、其點ハ東郷君モ御同意デアッタノデアリマスガ、今ノ問題ハ多少農林省ノ施設トモ關係ガアリマスルガ故ニ、私カラ申上ゲテハ如何デアリマス

○東郷委員 是ハ農林省バカリノ問題

デハナクシテ、商工ナリ、教育ナリ、モウ總ベテニ關係シテ居リマスカラ、總理大臣代理ノ御答ヲ願フコトガ適當デハナイカト思フ、農林大臣ハ農林省ノ所管ノ立場カラ御話ニナルカモ知レマセヌ、ソレデ態々總理大臣代理ニ御迷惑デモ御出席ヲ願フタノデスカラ、御答辯ヲ願ヒタイノデス、是ハ日本ノ國ノ根本ノ方針デスカラ……

○幣原國務大臣 私ノ甚ダ不案内ノ問

題ヲ御質問受ケタノデスガ、從來御承知ノ如ク日本ガマダ工業ノ進歩致シマセヌ時ニハ、農業ト云フモノガ主デアリマシテ、殆ド農業バカリノ國デアッタノデアリマス、隨テ歷代ノ政府ハ農業振興ノ爲ニ力ヲ盡シタト云フコトハアルノデアリマス、此頃ニナツテ農業ト云フモノヲ閑却シテ、商工業ノ爲ニ全力ヲ盡シテ居ルト云フ傾向ガアルノデハナイカト云フ御趣旨デアッタト思ヒマ

スガ、吾々ハサウ云フ風ナ意味合ヲ持ッテ居ルノデハナイノデアリマス、農業ヲ閑却シテ商工業ノミニ偏重シテ、ソ

レニ重キヲ置クト云フヤウナ趣旨ハ私
ハ持ッテ居ナイノデス、從來ノ内閣ノ方
針ハ左様デアッタト仰セラレマシタケ
レドモ、ドウ云フ事實ヲ御察シニナッ
ノカ知レマセヌガ、先刻モ申シマシタ
通り、日本ノ大多數ノ國民ハヤハリ農
民ナノデアリマス、其利益ヲ無視シテ、
ソレヲ輕ク見テ、近頃ハ商工業ノ發達
ニ偏シテ居ルト云フコトハ私ハナイノ
デヤナカラウト思フノデアリマス、少
クトモ今日ニ於テ、左様ニ一方ニ偏重
シテ、一ヲ重シ、一ヲ輕シテ居ルト
云フヤウナコトガアッテハナラヌト思フ
デアリマス、從來ノ内閣ニ於テモヤハ
リ同様ノ政策デヤッテ居ルノデヤナイ
カト私ハ觀察致シテ居リマスガ、何レ
ニ致シマシテモ、吾々ハ左様ナ偏重偏
輕、一方ニ偏スルト云フヤウナ考ハ吾
吾ハ持ッテハ居ナイノデアリマス

○東郷委員 私ハ今ノ内閣ノ御考ヲ御
聽シタノデハナイノデス、過去ニ於テ
——ドノ内閣トハ申シマセヌ、日本ノ
政治ガドウモサウ云フ時弊ガアル、其
結果ガ一面ニ於テ地方農村ノ疲弊困憊
ヲ生ム一ツノ主ナル原因ニナッテ居ル
ノデヤアリマセヌカ、是ハ私ノ考デス
ガ、總理大臣代理ハドウ御考ヘニナル
カト云フコトヲ御聽シタノデス、デ若
シ御前ノ考ガ間違ッテ居ル、サウデヤナ
イト云フ御考ナラバソレデモ宜イノデ

ス、今ノ内閣ノ御考ハ是カラ聽ク譯ナ
ンデス、ソレデ、過去ニ於テサウ云フ時
弊ガ非常ニアルヤウニ思ヒマスガ、ソ
レニ付テ總理大臣代理ハドウ御考ヘニ
ナリマスカト云フコトヲ御伺シタノデ
ス、ソレヲ一ツ簡單デモ宜シウゴザイ
マスカラ御答ヲ願ヒマス

○幣原國務大臣 ナカ／＼ムヅカシイ
問題デアリマス、過去ニ遡ッテ過去ノ政
府ガドウ云フ風ナ政策ヲ執ッタカト云
フコトニ付テハ、私ガ一言デ此處デ御
答スルヨリハ、モウ少シ調ベタ上デ御
答ヲ致シタ方ガ宜イト思ヒマスガ、如
何デゴザイマスカ

○東郷委員 ソレデハ調ベテ御答ヲ願
ヘレバ結構デスカラ、ドウカ御調ベノ
上ニ更ニ御答辯ヲ願ヒマス、ソレデハ
過去ノ事ハ御調ベノ上御答辯ヲ願フト
致シマシテ、現内閣ノ實際オヤリニナ
ル政策ノ現レカラ、私ハ少シク私ノ考
ヲ申上ゲテ、サウシテ總理大臣代理ノ
御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマ

濃厚ニナッタノデヤナイカト考ヘルノ
デ、ソレヲ甚ダ遺憾ニ思フノデス、ソレ
ハドウ云フ譯カト申シマスレバ、現内
閣ガ成立致シテ、直チニ御方針ヲ天下
ニ御聲明ニナッタ、サウシテ我國ノ今日
ノ行詰ッタ財政經濟ノ建直シ、申ス迄モ
ナク其中ニハ産業ト云フ大キナ問題モ
含マレテ居ルト思ヒマスガ、其根本的
建直シヲスルノニハ斯ウ云フ政策ヲ執
ラナケレバナラヌ、ソレハ何ヲ差措イ
テモ金解禁ヲヤラナケレバナラヌ、ソ
レカラ財政ノ上デハ、モウ出來ルダケ
ノ緊縮方針ヲ執ラナケレバナラヌ、公
債モ打切ッテ、成ベクト言フカ、非募債ノ
消費節約ハ出來ルダケ之ヲ徹底的ニ
ヤッテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ御執リニ
ハッタ、又ソレガ今日ノ日本ノ此行詰
タ財界ナリ經濟界ナリヲ根本的ニ救濟
スルト云フ唯一ノ方法デアアル、斯ウ云
フ御考デ熱心ニ御盡力ニナッタ、其結果
ガドウ云フ風ニ現レタカト云フコト

ハ、既ニ本會議ニ於テ、豫算總會ニ於
テ、其他ノ機會ニ於テ、論議サレタノデ
アリマスカラ、玆ニ私ハ繰返ヘシハ致
シマセヌガ、其結果ト云フ結論ニ到達
シタカト申シマス、私ハ斯ウ思ヒマ
ス、金解禁ヲ御實行ニナッタ結果、日本
ノ貨幣價值ハ上タッガ物ノ値ガ下ッタ、
又極端ナル緊縮方針ヲ御執リニナッタ
結果、公債ノ値ハ上タッガ、其半面ニ於

テハ中商工業者、殊ニ地方農村ニ對ス
ル、色々ノ施設ガ中止サレタ、即チ之ヲ
引括メテ言ヘバ、現内閣ノ政策ノ根本
的結果ハドウナッタカト云フト、都會ヲ
中心トシタ大資本家、少數ノ大事業家
ニハ非常ニ都合ガ好イガ、國民ノ中堅
ヲ成シ、又ハ我國ノ工業ノ主ナ部分ヲ
占メル所ノ商工業者竝ニ地方農民ハ非
常ナ打撃ヲ受ケタ、言葉ヲ換ヘテ言ヘ
バ、此政策ノ結果ハ此一部ノ者ノ利益
ニハ非常ニナッタガ、多數國民中産階級
以下、殊ニ地方農村ガ非常ナ打撃ヲ受
ケルト云フコトニナッタ、此結果カラ見
レバ、現内閣ノ御方針ハ從來我國ノ政
治ノ餘弊デアアルト思フ所ノ、都會中心、
商工業殊ニ大キナ事業家ニ偏シ、地方農
村ニ對シテソレ程幸福ヲ齎サナイ、斯
ウ云ッタヤウナ結果ガ從來ヨリモ非常
ナ程度デ以テ現レタタモノデアルト
云フコトヲ、私ハ觀察セザルヲ得ナイ
ノデス、此點總理大臣代理ハドウ御辨
明ニナリマスカ、ソレヲ承リタイ

○幣原國務大臣 只今御問ヒニナリマ
シタ問題ハ、恐ラクハ有ユル機會デ論
議サレタ事デアリマシテ、東郷君モ御
承知ノ事ト思ヒマス、要スルニ金解禁
ヲ行ッタト云フコトハ、詰リ農村ヲ輕ン
ズルト云フコトニナッタ、金解禁ト云フ
モノハ大資本家ノ利益ヲ保護スルダケ
デアッテ、農村ヲ全ク輕ンジタモノデア

○東郷委員 私ハ今ノ内閣ノ御考ヲ御
聽シタノデハナイノデス、過去ニ於テ
——ドノ内閣トハ申シマセヌ、日本ノ
政治ガドウモサウ云フ時弊ガアル、其
結果ガ一面ニ於テ地方農村ノ疲弊困憊
ヲ生ム一ツノ主ナル原因ニナッテ居ル
ノデヤアリマセヌカ、是ハ私ノ考デス
ガ、總理大臣代理ハドウ御考ヘニナル
カト云フコトヲ御聽シタノデス、デ若
シ御前ノ考ガ間違ッテ居ル、サウデヤナ
イト云フ御考ナラバソレデモ宜イノデ

ス、今ノ内閣ノ御考ハ是カラ聽ク譯ナ
ンデス、ソレデ、過去ニ於テサウ云フ時
弊ガ非常ニアルヤウニ思ヒマスガ、ソ
レニ付テ總理大臣代理ハドウ御考ヘニ
ナリマスカト云フコトヲ御伺シタノデ
ス、ソレヲ一ツ簡單デモ宜シウゴザイ
マスカラ御答ヲ願ヒマス

○幣原國務大臣 ナカ／＼ムヅカシイ
問題デアリマス、過去ニ遡ッテ過去ノ政
府ガドウ云フ風ナ政策ヲ執ッタカト云
フコトニ付テハ、私ガ一言デ此處デ御
答スルヨリハ、モウ少シ調ベタ上デ御
答ヲ致シタ方ガ宜イト思ヒマスガ、如
何デゴザイマスカ

○東郷委員 ソレデハ調ベテ御答ヲ願
ヘレバ結構デスカラ、ドウカ御調ベノ
上ニ更ニ御答辯ヲ願ヒマス、ソレデハ
過去ノ事ハ御調ベノ上御答辯ヲ願フト
致シマシテ、現内閣ノ實際オヤリニナ
ル政策ノ現レカラ、私ハ少シク私ノ考
ヲ申上ゲテ、サウシテ總理大臣代理ノ
御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマ

ルト云フ御議論ノヤウデアリマス、金經濟界ト申シマスノハ、日本ノ總テノ解禁ヲ行ヒマシタコトハ、決シテ左様ナ趣旨ヲ以テナッタノデハナイ、屢々本會議其他デ説明サレタ如ク、日本ノ經濟界ハ金ノ輸出ヲ禁止スルト云フ一ツノ室ノ中ニアッテ、不自然ノ發達ヲ來タシテ居ッタノデアリマス、是デハ世界ノ真中ニ出テ各國ト競争シテ行クト云フ譯ニハ行カナイト云フヤウナ見地カラ致シマシテ、此金ノ輸出ヲ解禁スルニ至ッタノデアリマス、是ハ何ヨリモ一番必要ナ事デアッテ、色々ナ見地カラヤッ

タノデアリマスガ、此金解禁ノ行ハレマシタ理由ト云フコトハ、今更ラ此處デ繰返ス必要ハナカラウト思フ、要スルニ不自然ナル狀態ニ在ッタモノヲ自然ノ狀態ニ引戻シタノデアリマス、是ガ爲ニ一時迷惑ヲシタモノハ必ズシモ農村ダケデハナカラウト思フノデアリマス、工業界モヤハリ迷惑ヲシタト思ヒマスガ、國家全體ノ爲メカラ見テ、是ガ必要デアルト云フノデ、之ヲ斷行スルニ至ッ

ヲ受ケタ、所謂弱イ者窘メノ政策デアルト思フカ、總理大臣ハドウ考ヘマスカト質問シタ時ニ、濱口總理大臣ハ、今幣原首相代理ガ仰セニナッタヤウナ意味ノコトヲ御答ニナッタノデアリマス、ソレハ總理大臣デモ總理大臣代理デモ、サウ御答ニナルノガ當然デアアル、現内閣ハ農民窘メノ爲ニ金解禁ヲヤッタノデアアル、或ハ工業者窘メノ爲ニ金解禁ヲヤッタノデアルト云フヤウナ御考ハアルベキ筈ノモノデアアリマセヌカ、結果ガドウ現レタカ、事實ガドウ

アル而シテ此物價下落ノ爲ニ、國民ノ中ノドノ階級ガ一番打撃ヲ受ケルカト申シマスレバ、私ハ農村デアルト思フ、農漁村民デアルト思フ、如何トナレバ、是ハ本議會ニモ繰返シテ質問致シマシタカラ申シマセヌガ、要スルニ農產物以外ノ工業生産品ノ如キハ、物價ガ下レバ、其下ッタダケノ損失ヲ他ニ轉嫁スベキ色々ノ餘地ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ原始産業ニ依ル農產物ハ、東君モ本會議デ述べラレマシタガ、物價ノ値下

リニ依ル損失ヲ何處ニモ轉嫁スベキ餘地ヲ持タヌ、ダカラ金解禁ヲスレバ貨幣價值ガ上ッテ、物價ガソレニ伴ッテ下ガルコトニナレバ、此物價下落ニ依ル損失ヲ他ニ轉嫁シ得ザル農漁民ガ損失ヲ受ケルコトハ當然デアリマス、故ニ金解禁ヲスルニハ、ドノ階級ノ國民ニ無理ガ行クカラ御考ヘニナラナケレ

バナラヌ而シテ其無理ノ行クベキ國民ノ大多數ノ者ニ對シマシテハ、成ベク打撃ヲ少クスルヤウニ豫メ御準備ガ必要デアッタ筈デアリマス、例ヘバ農產物ノ値下リノ爲ニ農民ノ收入ガ減ルト云フナラバ、之ヲ緩和スル爲ニ、先ヅ負擔ノ輕減ヲ御考慮ニナッテ、此打撃ヲ少シデモ少クシテ行カウト云フダケノ御親切

ナラヌ筈デアアル、是ハ事實デアアルソコデ私ハ金解禁ヲオヤリニナルノハ現内閣ノ御決心デアルカラ、オヤリニナルコトニ吾々ハ異議ヲ挾ムコトハ無論出來マセヌ、ソレハ政府ノ御勝手デアアル、併ナガラ金解禁ヲオヤリニナレバ、爲替相場ガ先程申シマシタヤウニ釣上ル、ソレガ爲ニ物價ハ下ル、一割三分ナラ一割三分貨幣價值ガ上レバ、物價ガソレダケ下ル、他ノ影響ヲ度外視シテモ下ルト云フコトハ、大藏大臣モ自ラ説明サレテ居ル、ソレハ當然デ

アル而シテ此物價下落ノ爲ニ、國民ノ中ノドノ階級ガ一番打撃ヲ受ケルカト申シマスレバ、私ハ農村デアルト思フ、農漁村民デアルト思フ、如何トナレバ、是ハ本議會ニモ繰返シテ質問致シマシタカラ申シマセヌガ、要スルニ農產物以外ノ工業生産品ノ如キハ、物價ガ下レバ、其下ッタダケノ損失ヲ他ニ轉嫁スベキ色々ノ餘地ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ原始産業ニ依ル農產物ハ、東君モ本會議デ述べラレマシタガ、物價ノ値下

カ、絕對必要ト見タノデアリマス、其ノ者ハ、恩惠ドコロカ、寧ロ非常ナ打撃ヲ受ケタ、所謂弱イ者窘メノ政策デアルト思フカ、總理大臣ハドウ考ヘマスカト質問シタ時ニ、濱口總理大臣ハ、今幣原首相代理ガ仰セニナッタヤウナ意味ノコトヲ御答ニナッタノデアリマス、ソレハ總理大臣代理デモ、サウ御答ニナルノガ當然デアアル、現内閣ハ農民窘メノ爲ニ金解禁ヲヤッタノデアアル、或ハ工業者窘メノ爲ニ金解禁ヲヤッタノデアルト云フヤウナ御考ハアルベキ筈ノモノデアアリマセヌカ、結果ガドウ現レタカ、事實ガドウ

現レテ來タカト云フコトハ、是ハ僞ル譯ニ行カナイ、私ガ申上ゲマシタヤウニ、確ニ一部ノ國民、少數ノ者ハ非常ナ利益ヲ得タガ、多數ノ國民、殊ニ農民乃至ハ中小商工業者ガ非常ナル打撃ヲ受ケタト云フコトハ御認ニナラナケレバナラヌ筈デアアル、是ハ事實デアアルソコデ私ハ金解禁ヲオヤリニナルノハ現内閣ノ御決心デアルカラ、オヤリニナルコトニ吾々ハ異議ヲ挾ムコトハ無論出來マセヌ、ソレハ政府ノ御勝手デアアル、併ナガラ金解禁ヲオヤリニナレバ、爲替相場ガ先程申シマシタヤウニ釣上ル、ソレガ爲ニ物價ハ下ル、一割三分ナラ一割三分貨幣價值ガ上レバ、物價ガソレダケ下ル、他ノ影響ヲ度外視シテモ下ルト云フコトハ、大藏大臣モ自ラ説明サレテ居ル、ソレハ當然デ

アル而シテ此物價下落ノ爲ニ、國民ノ中ノドノ階級ガ一番打撃ヲ受ケルカト申シマスレバ、私ハ農村デアルト思フ、農漁村民デアルト思フ、如何トナレバ、是ハ本議會ニモ繰返シテ質問致シマシタカラ申シマセヌガ、要スルニ農產物以外ノ工業生産品ノ如キハ、物價ガ下レバ、其下ッタダケノ損失ヲ他ニ轉嫁スベキ色々ノ餘地ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ原始産業ニ依ル農產物ハ、東君モ本會議デ述べラレマシタガ、物價ノ値下

リニ依ル損失ヲ何處ニモ轉嫁スベキ餘地ヲ持タヌ、ダカラ金解禁ヲスレバ貨幣價值ガ上ッテ、物價ガソレニ伴ッテ下ガルコトニナレバ、此物價下落ニ依ル損失ヲ他ニ轉嫁シ得ザル農漁民ガ損失ヲ受ケルコトハ當然デアリマス、故ニ金解禁ヲスルニハ、ドノ階級ノ國民ニ無理ガ行クカラ御考ヘニナラナケレバナラヌ而シテ其無理ノ行クベキ國民ノ大多數ノ者ニ對シマシテハ、成ベク打撃ヲ少クスルヤウニ豫メ御準備ガ必要デアッタ筈デアリマス、例ヘバ農產物ノ値下リノ爲ニ農民ノ收入ガ減ルト云フナラバ、之ヲ緩和スル爲ニ、先ヅ負擔ノ輕減ヲ御考慮ニナッテ、此打撃ヲ少シデモ少クシテ行カウト云フダケノ御親切

ガナクレバナラヌ筈デアル、所ガ現内閣ノ金解禁ニ伴フ緊縮方針ノ結果ハ、從來農村ニ對シマシテ色々ノ施設ノアツタモノヲ、或ハ中止、或ハ繰延ヲオヤリニナッタ、ダカラ一度金解禁ヲヤリ、一般物價ノ下落其他ノ理由ニ依ッテ農産物ノ價格ガ下ツタ今日、農村ノ窮迫ハ實ニ名狀スベカラザルモノデアル、ダカラソレ等ノ點カラ考ヘマスルト、私ハ決シテ現内閣ガ態ト農村ヲ冷酷ニ取扱フ御考ハナイカモ知レマセヌガ、此大問題ヲ御解決ナサルニハ、尠クトモ此重要ナル點ヲ先ヅ第一ニ御注意ニナリ、從來ヨリモヨリ以上ニ、農村ニ對シテハ國家ガ色々ノ施設ヲシテサウシテ此金解禁其他物價下落ノ爲ニ受クル打撃ヲ少クサレル御用意ガナクチャナラヌ筈デアル、ソレノナカッタコトハ確ニ私ハ現内閣ノ落度デアルト信ズルノデアリマスガ、總理大臣代理ハ此事實ヲ御認メデアラウカドウカ、御同致シマス	致シマシテモ、亦農村ニ對スル低利資金ノ融通ノ計畫ニ致シマシテモ、或ハ肥料ノ配給ニ關スル諸政策ニ致シマシテモ、亦小學校教員ノ俸給國庫負擔ノ問題ニ致シマシテモ、總テ是ハ農村ノ爲ニ圖ツタモノデアラウト考ヘルノデゴザイマス、今回提出サレテ居リマスル地租法ノ改正ノ如キモ、實際ニ於キマシテハ、農村ニ對スル負擔ハ大都會ノ宅地等ニ比シマシテ、田畑ノ地租ノ割合ハ宜クナツテ居ルノデアリマシテ、何デモ田畑ノ地租ハ千五百萬圓ハ減リマス、斯ウ云フ風ナ事モ、ヤハリ農村ノ利益ヲ重シテ居ルト云フコトノ一々ノ現レデアルト認メテ差支ガナイデアラウト考ヘマス、要スルニ吾々ハ農村ノ利益ヲ輕視シテ居ルト云フヤウナ事實ハ少シモアリマセヌ、今日ノ財政ノ甚ダ困難ナル時代ニ於キマシテモ、吾ノ力ノ及ブ限リハ農村ノ疲弊ヲドウカシテ緩和シタイト云フ方法ハ種々ノ方法デ以テ講ジテ居ルノデアリマス、是等ノ方法ハ何レニ致シマシテモ、一ツノ政策、一ツノ方法デ以テ全般ノ目的ヲ達スルト云フコトハ困難デアリマス、總テ色々ノ政策、色々ノ方法ガ綜合致シマシテ、ソレニ依ッテ農村ノ疲弊ヲ緩和スルト云フコトニ致スヨリ仕方ガナイト思フノデアリマス、只今申シマシタ數箇ノ政策方法ハ、是ハ一ツノ	○幣原國務大臣 農村ノ疲弊ト云フコトハ、吾々モ常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、現内閣ハ此爲ニ出來ルダケノ處置ヲ執ツテ居ル積リデアリマス、農村ニ對シテ冷酷デアルト言ハレルノハ少シ當ラナイノデヤナイカト思ヒマス、米價調節ノ方法ヲ講ズルニ致シマシテモ、亦爾ノ市價調節ノ方法ヲ講ズルニ	例ニ止マリマスケレドモ、吾々決シテ農村ヲ輕シテ居ル者デナイト云フコトノ證據ニハナラウト考ヘマス	○東郷委員 總理大臣代理ハ只今農村ノ救済ニ關スル施設トシテ色々ノ項目ヲ御舉ゲニナリマシタガ、是ハ私他日ノ機會ニ於キマシテ當該大臣ニ詳シク御尋致シ、私ノ考モ申上グル積リデスカラ、是ハ此處デ是レ以上議論ハ致シマセヌ、長クナリマスカラ總理大臣代理モ御迷惑ト思ヒマスカラ、議論ハ致シマセヌガ、唯一ツ此點ダケハ申上ゲテ置キマス	○幣原國務大臣 人口ハ益々殖エテ參	只今御舉ゲニナツタ農村救済ノ色々ノ施設、是ハ吾々ノ眼カラ見レバ極メテ姑息ナルモノデアル、私ガ先程申シマシタヤウニ、今日ハ農村ハ疲弊ナドト云フ程度デハナイ、農村ハ恐慌時代デアル、此國家非常ノ場合ニ於テ、此農村ノ恐慌ヲ根本的ニ打開スルニハ、モツト政府ハ非常ナ御決心ガナケレバナラヌト思ヒマス、併シソレ等ハ議論ニナリマスカラ、私ハ大體ニ於テ現内閣ノ御方針ノ一端ヲ伺ヒマシタカラ、是レ以上申シマセヌガ、ソレデ總理大臣代理ノ御考デハ、農業、農民ヲ保護スルコトニ於テ非常ナ努力ヲスルノガ至當デアルト云フ御話デアリマスガ、併ナガラ將來ハ工業ト云フモノヲ盛ニシテ、サウシテソレヲ中心ニシテ、人口問題、	食糧問題ヲ解決シナケレバナラヌト云フ御話デアリマシタカラ、更ニ私ノ御尋ヲ一歩進メテ行クコトニ致シマスガ、總理大臣代理ノ大體ノ御話カラ見マス、農業モ維持シナケレバナラヌ、ソレカラ商工業モ盛ニシナケレバナラヌ、又特ニ將來ハ商工業ニ重キヲ置イテ行クコトガ必要デアル、斯ウ云フ御考ト致シマスナラバ、是等ノ問題ニ關聯シテ先ヅ吾々ガ研究シナケレバナラヌ事ハ我國ノ食糧政策デアラウト思ヒマス 食糧問題ヲドウスルカ、今日茲ニ御提案ニナテ居ル案モ結局ハ其處ニ落著クノデスガ、我國ノ食糧政策ノ根本ハドウ云フ方針デ行ツタラ宜イノダラウ、斯ウ云フ事ニナリマスガ、或ハ商工業ヲ盛ニスルト云フコトニ於テハ、成ベク生産費ヲ安クシテ、サウシテ安イ物ヲ造ツテ、外國ニ盛ニ賣ル方法ヲ考ヘナケレバナラヌ、ソレニシテハ食糧ノ如キハ出來ルダケ安イ物ヲ供給スル必要ガアル、此立場カラ言ヘバ、必ズシモ日本ノ内地ニ於テ食糧ヲ自産スル必要ハナイデヤナイカト云ツタヤウナ議論モアルノデスガ、總理大臣代理ハ此問題ニ付テドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマス、ソレヲ承リタイト思ヒマス
--	--	---	--	---	--------------------------	---	--

マスル食糧ト云フモノハ、是ハドウシテモ主義トシテハ自足自給デ、日本國內デ供給シ得ルト云フコトニ致スコトガ理想デアラウト考ヘマス、外國ノ例ヲ見マスト云フト全ク自分ノ國デハ生産シナイデ、外國カラノ供給ニ仰イデ居ルト云フ國モアリマスケレドモ、ソレ等ノ國ハ一旦事ガアリマスト云フト非常ナ困難ナル立場ニ立ツノデアリマスカラ、出來マス限リハ原則ト致シマシテハ食糧品ハ自足自給ト云フ方針デ進ンデ行カナケレバナラスト考ヘマス

○東郷委員 食糧問題ハ自足自給、自產自給、之ヲ原則トシテ進マナケレバナラスト、ハッキリ御方針ガ分リマシタ、サウスルト日本ノ内地ニ於テ努力スルニ於テハ、將來人口ガ増加シテモ内地ノ生産ダケデ——私ハ米ダケヲ例ニ取リマシタガ、米ハ内地ダケデ内地ノ人口増加ニ伴ッテ増加シテ行ク所ノ需要ニ應ズルコトガ出來マスカドウカ、現内閣トシテハ其點ハドウ云フ御方針デ行ッテ居ラレマスカ、簡單デ宜シウゴザイマス

○幣原國務大臣 内地ダケデ自足自給出來ルト云フコトハ困難デアラウト考ヘマスケレドモ、御承知ノ如ク朝鮮ニハ產米増殖ノ計畫ガアリ、又臺灣ニ於キマシテモ同様ノ計畫デ進ンデ居ルノデアリマス、詰リ日本帝國全體トシテ

考ヘマスケレバ、ドウシテモ自足自給ト云フコトデヤッテ行カナケレバナラスト、日本内地ダケデ足りナケレバ、是等ノ植民地ト云フ言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、臺灣デアルトカ、朝鮮デアルトカ云フ處カラ補ヲ付ケル、付ケ得ルト云フ方針ヲ定メナケレバナラスト考ヘマス

○東郷委員 大分ハッキリ御意見ガ分リマシタガ、サウシマスト斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、内地ノ國民ガ必要トスル食糧ハ先ヅ第一ニ出來ルダケ内地デ作ル、之ニ全力ヲ擧ゲテ行ク、併ナガラソレデハ足りナイ、其足ラヌ所ヲ朝鮮臺灣ト申シマスカ、日本ノ内地以外ノ國土ノ產業ニ仰グ、是ハ第二次的ノ意味ニ於テ、ソレカラ尙ホソレデモ足ラヌカト思ヒマスカ、總理大臣代理ハ其以外ハ仰セニナラナカッタケレドモ、尙ホ其以外ニ足ラヌ、内地デ先ヅヤッテソレデモ足ラヌ、植民地米ニ仰イデモ尙ホ足ラナイ、其場合ニハ其補充ハ外米ヲ以テ之ヲ補フ、或ハ足ラヌト云フ譯デハナイ、或ル特殊ナ目的ノ爲ニハ外米ノ方ガ宜イト云ッヤウナ場合モアラウト思ヒマスカ、サウ云フ場合ニ外米ヲ以テ補フ、斯ウ云フ方針、詰リ第一ニ出來ルダケ内地デ作ル、ソレデモ足ラヌカラ、其不足ハ植民地ニ仰グ、尙ホソレデモ足ラヌ場合、乃至ハ

特殊ノ事情ノ場合ニ外米ヲ已ムナク入レルノダ、斯ウ云フ御方針デアルト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○幣原國務大臣 其通リデアリマス

○東郷委員 ソレデ現内閣ノ米ニ關スル御方針ガ明瞭ニナリマシタカラ、是ハ此程度ニシテ置キマスカ、米ノ問題ハ只今總理大臣代理ノ御答ノ通り、先ヅ内地デヤル、ソレデ足テヌ場合ニハ植民地ニ仰グ、尙ホ足ラヌ場合若クハ特殊ノ目的ノ爲ニ外米ヲ仰グ、斯ウ云フコトデアルナラバ、此内地植民地ヲ通ジタ所ノ米ノ生産ナリ、其他ノ政策ト云フモノガ、根本的ニ確立シナケレバナライナイ筈ダト思ヒマス、今年ノ如ク内地、植民地共ニ非常ニ豐作デ、米ノ餘ッテ居ル、餘リ今マデ例ノナイヨウナ特殊ノ現象ノ出タ場合ニ於テ、特ニ此點ハ政府トシテハ御考ヘニナラナケレバナラスト思ヒマスカ、ソコデ是ハ總理大臣デナクトモ、農林當局デモ宜シウゴザイマスカ、出來ルナラ植民地ニ關係シテ居ルカラ、總理大臣ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマスカ、内地植民地ヲ通ジテ御考ヘニナッテ、將來ドウ云フ風ナ傾向デ我國ノ食糧——米ノ問題ニ限リマスカ、米ノ需給ハ發展シ行クモノデアルカ、何カソレニ目安ガ付イテ居ルデセウカ、若シ付イテ居ルナラバ、ソレヲ承リタイ

○町田國務大臣 此問題ハ寧ロ私カラ大體申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、米ノ需給ノ數量等ニ關係シタ事ハ、餘リ總理大臣ハ數字等ハ御承知ナイカモ知レマセヌカラ、私カラ申上ゲテ宜ケレバ私カラ申上ゲマス

○東郷委員 農林大臣カラ御説明下スッテ宜イノデスカ、數字等ノ問題ハ私ハ農林大臣ニ段々御伺致シマスカラ、極ク簡單ニ斯ウ云フ事ニナルダラウト云ッヤウナコトヲ、此際總理大臣デナクテモ宜シイ、農林大臣ガ御説明下サレテ宜イノデアリマスカラ、極ク要點ヲ御話ヲ願ヒマス

○町田國務大臣 御承知ノ通り内地デモ耕地ノ擴張、耕地ノ改良、就中從來ノ經驗ニ依リマスト、學術應用ノ結果、耕地ノ改良、品種ノ改良等ニ依ッテ米ノ收穫ガ殖エタ分量ハ、耕地ノ擴張ニ依ッテ殖エタ分量ヨリモ多イノデアリマス、即チ耕地ノ擴張計畫ト耕地ノ改良計畫ニ依ッテ、内地ニ於キマシテ今後增收セラレル部分ト、臺灣ニ於キマスル產米計畫等ヲ合セマスケレバ、長イ間ノ推算ハ今日ハッキリ立ッテ居リマセヌガ、少クトモ今後三十年間ハ、人口ノ増加ニ伴フ食糧問題ノ解決ヲシ得ラレル大體ノ方針ガ立ッテ、ソレニ依ッテ仕事致シテ居リマス、然ラバ今後三十年ノ後ニハ如何カト云フ問題モ起リマセウガ、

學術ノ發達進步、或ハ未墾地ノ開拓、種
種ノ方法モ又自ラ出テ參リマセウシ、
海外發展ノ方法モアリマセウ、滿洲等
ニ於キマスル移民、或ハ朝鮮等ニ於キ
マシテモ相當ナ餘地モアリマセウシ、
差當リ朝鮮、臺灣トモ幾分アリマスガ、
内地ノ耕地ノ擴張、耕地ノ改良ト併セ、
朝鮮ニ於ケル產米計畫等ヲ併セマシ
テ、駁々トシテ増加シテ參リマス、人口
増加ニ對シテハ、食糧ガ自給自足ガ出
來ルト云フ推算ノ下ニ只今施設ヲヤッ
テ居ルノデアリマス

○東郷委員 現在ノ農林省若クハ朝鮮
臺灣邊リノ產米ニ關スル御施設ダケ
デ、將來三十年ヲ期シテ食糧ノ自產自
給ガ出來ルト云フ御計畫ガ出來テ居ル
ノデアリマセウカ、唯、今後三十年ヲ目

當ニシテ、内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテヤ
レバ、斯ウ云フ程度ノ自產自給ガ出來
ルト云フ其計算ハ出來テ居ルガ、其計
算ノ下ニ具體的ニ三十年計畫デ食糧自
給、殊ニ私ハ米ノ問題ダケ申シマスガ、
米ノ自給ト云フモノヲヤルノダト云フ
其具體的案ガ出來テ、ソレヲ實際今ヤッ
テ居ラレルトハ私ハ思ハナイノデス
ガ、ソレハ先程大臣ノ御話デハ、何カ既
ニ著々ヤッテ居ラレルヤウナ御説明ノ
ヤウデスカラ、ソレデハキリシテ置キ
タイト思ヒマス

○町田國務大臣 御尤デアリマス、少

シ私ノ言葉ガ足ラヌノデアッタカモ知
レマセヌガ、人口食糧會議ニ於キマシ
テ調査シタ方法ニ依ッテ、大體ノ方針ヲ
其處ニ取ッテ、三十年計畫ノ方針ハヤッ
テ行ケルト云フ方針ハ定ッテ居リマス、
其施設ノ中ニ現在既ニ著々ヤッテ居ル
モノモアリマス、マダ其方針ノ下ニ行
フベキ施設ガ行ハレデ居ラヌモノモア
リマスガ、今ノ順序デ進ミマシテ新タ
ナ施設ヲ加ヘテ參リマス、此方針ノ
下ニ三十年ノ自給自足ガ、人口ノ増加
ニ伴ッテ相應ズルコトガ出來テ參ルノ
デアッテ、今ヤッテ居ル施設ダケデハ、全
部三十年後ニハ是デ行ケルト云フマデ
ニハマダ參ッテ居ラヌ施設モアルコト
ハ御承知下サレテ宜カラウト思ヒマ
ス

○東郷委員 只今大臣ノ御説明デ三十
年計畫ハ唯數字のニ出來テ居ル、現在
オヤリニナッテ居ルノハ其一部分ダ、斯
ウ云フ御話デアリマスガ、其通りダラ
ウト思ヒマス、ソコデソレヲ實現サレ
ルニハ尙ホ將來非常ナ御施設ガナケレ
バ私ハ完成ハシナイモノト思ヒマス、
所謂是ハ未完成ノ計畫デアッテ、唯數字
的ニ三十年間ノ需給ノ關係ヲ御示ニ
ナッタ、參考資料ニ過ギナイト私ハ考ヘ
マス、併ナガラ私其參考資料ヲ拜見致
シテ見マシテモ、昭和二年ヲ起點トシ
テ、將來三十年ノ御計算ガ出テ居リマ

スガ、ソレト現在ノ米ノ需給ノ關係ト
ヲ比較シテ見ルト、餘程數字ガ違ッテ來
テ居ルヤウニ思ヒマス、アノ計畫ニ依
ルト、昭和五年アタリノ產額或ハ外米
輸入ノ數ナルモノハ、餘程現實ノ數字
トハ違ッテ居リマスカラ、言葉ヲ換ヘテ
言ヘバ、アノ御計算ヨリモ米ノ生產ガ
非常ニ殖エテ居ルヤウニ私ハ拜見致シ
マスガ、サウ致シマスルト、最近此數年
間ノ事實ヲ基礎トシテ御考ヘニナルト
スレバ、アノ御計畫ノ根本ノ數字ハ一
應御改メニナラナケレバ、將來ニ非常
ナ過チヲ來スモノデハナイカ、斯ウ云
フ感ジガ致シマス、私ハ或ル一部ノ人
ガ、今年内地ナリ朝鮮ガ非常ナ豐作ダ、
將來モコンナ程度デ行クダラウト云ッ
タヤウナ議論ヲスル人ニハ直チニ荷擔

ハ致シマセヌ、デスガ餘程違ッテ來テ居
ルノデハナイカト思ヒマス、サウシテ
見ルト、今日内地ノ農村ハ非常ニ疲弊
困憊シテ居ル、イヤソレ以上恐慌時代
ヲ出現シテ居ル、此惱ヲ救済スルニハ
先ヅ日本ノ農家ノ根柢ヲ爲ス所ノ米ノ
問題、特ニ米價ノ問題ヲ徹底的ニ解決
シナケレバナラヌ時代ガ到達致シテ居
ル、ソレニハ從來ト違ッテ植民地ノコト
モ大イニ考ヘナケレバナラヌト云フ必
要ニ迫マラレテ居ル今日デアリマスカ
ラ、本當ニ此行詰リノ米ノ問題ヲ解決
サレルニハ、私ハ此際從來アル三十年

計畫ノアノ數字ト云フモノヲ改訂サレ
ル必要ガアルノデハナイカト考ヘル、
ソレヲヤルニハ唯農林省ガ書面ヲ以テ
或ハ近頃ハ拓務省ガ出來マシタカ
ラ、拓務省ヲ御經由ニナルカモ知レマ
セヌガ、朝鮮總督ヤ臺灣總督カラ數字
ヲ取ラレタダケデハ、ソレハ机上ノ統計
ヲ唯並ベタダケデアッテ、ソレデハ解決
ガ出來ナイノデアリマス、私ハ長イ間
臺灣總督府ニ居リマシタガ、私達ガ居
ル場合ニモ農商務省カラサウ云フ調ヲ
命ゼラレタコトガ能クアルケレドモ、
ソレダケデハ此重大問題ハ解決出來ナ
イノデアリマス、之ヲ根本的ニ解決ス
ルニハ、ドウシテモ現内閣トシテハ非
常ナル御決心ガ要ルト思ヒマス、ソレ

ニハ速ニ朝鮮ナリ、臺灣ナリ、所謂我ガ
國土ヲ一ツニシタ所ノ食糧政策ノ根本
的立直シヲサレルコトガ必要ダト私ハ
痛切ニ感ジテ居ルノデアリマスガ、併
ナガラ現内閣ハ一向サウ云フ御計畫ハ
ナイヤウニ思ハレマス、從來通り散漫
ナル行方デ、此行詰タ米ノ問題ガ本當
ニ解決サレルモノデアリマセウカ、私
ハ内心農村ノ爲ニ之ヲ憂ヘテ居ル、否
日本國家ノ基礎ヲ固メル上ニ於テ非常
ニ憂ヘテ居ル一人デアリマスガ、政府
當局ハ今日速ニ内地植民地ヲ打ッテ一
丸トシタ所ノ、食糧政策ノ根本的立直シ
ヲヤル爲ノ積極的御方針ヲ執ラレル御

意思ハアリマセヌカ、之ヲ確メテ置キタイ、是ハ總理大臣カラ御答ヲ願ヒマス

○幣原國務大臣 只今ノ御意見ハ十分考ノ中ニ入レテ問題ヲ考究スル必要ガアルト考ヘマス、此法律案ハ御承知ノ如ク内地ノ米穀ノ需給、價格ノ調節ヲ目的トシタノモノデアリマス、斯ウ云フ譯デアリマス、併ナガラ今ノ御話ハ内地モソレカラ臺灣モ朝鮮モ打テ一丸トナシテ、ソレニ對スル一ツノ米穀ノ政策ト云フモノヲ設ケナクテハナラヌト云フコトデアリマスガ、其御趣旨ハ十分ニ諒解サレコトデアリマス、ソレ等ノ點ハ確ニ頭ノ中ニ入レテ政策ヲ立テナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○東郷委員 頭ノ中ニ入レテ御考ヘ下サルコトハ結構デスケレドモ、先程モ申上ゲマシタヤウニ此米ノ問題ノ根本ヲ解決スルニハ、何ヲ差措イテモ先ヅ此處カラハイラナケレバナラヌノデハナイカ、是ガチリ、バラ、ニナッテ居ッテハ、何處マデ經ッテモ解決ハ出來ナイト信ズルノデアリマス、ソレデアリマスカラ速ニサウ云フ方策ヲ御執リニナルコトガ、今日ノ此行詰タ米穀ノ問題ヲ解決スルニ適切ナ事ダと思ヒマスガ、政府ハサウ云フ御意思ハアリマセヌカ、意思ガアルトカナイトカ、ソ

○東郷委員 總理大臣ニ御聽スル事ハマダ大分殘ッテ居リマスガ、大體根本ダケ御聽スレバ他ノ大臣ノ質問ニハイルコトガ出來マスカラ、大體總理大臣ニ對スル質問ハ要領ヲ得マシタカラ、一時質問ヲ保留スルコトニ致シマス(「ソレハイカヌ」「ヤルダケヤレ」ト呼ブ者アリ)モウ總理大臣ニ對スル質問ガ濟ンダカラ、今後質問出來ナイト云フソナリ理窟ハアルマイ、ソレデスカラ大體終リマシタカラ、今日ハ此程度ニシテ、明日ノ朝カラハ他ノ大臣ニ質問シマス、併ナガラ必要ガアツタ場合ニハ、又御都合ヲ伺ッテオイデヲ願ハナケレバナラヌ、ソレヲ保留シテ置イテ、今日ハ此程度ニ止メル、斯ウ云フ御願デアリマス

○幣原國務大臣 一寸今ノ御言葉ハ聽漏シマシタガ、今日吾々ガ執ッテ居ル政策ハチリ、バラ、デ、支離滅裂デアルト云フ御話デアリマシタ、ソレ故ニ斯ウ云フ政策ヲ改メテ、一ツ一貫セル、殖民地ヲ打ッテ一丸トセル政策ヲ樹テル必要ガアル、今日ノヤウナ支離滅裂ナコトデアリカヌト云フ趣旨デ御尋

○東郷委員 支離滅裂ト云フ言葉ガ適當デナイカアルカハ別問題デスガ、私ハサウ考ヘル、今日食糧問題、特ニ米ノ問題ヲ解決スルニハ、今日ノヤウナ米穀法ニ依ッテ内地ダケデ之ヲ利用スル、或ハ之ヲ臺灣ナリ、朝鮮ニモ持ッテ行クトカ、行カヌト云フヤウナ問題デナク、今日ノ此農業恐慌時代、農村恐慌時代ヲ根本カラ打開スルニハ色々アリマスケレドモ、其中デモ米ノ問題ヲドウシテモ解決シナケレバナラヌ、農村ダケデハナイ、國家ノ今日ノ行詰リヲ打開スルニハ之ヲヤラナケレバナラヌガ、ソレニハモウ一步進ンデ、今言ッタヤウニ根本的立直シヲオヤリニナル必要ガアルト思ヒマス、ソレニハ内地、朝鮮、臺灣ヲ打テ一丸トシテ、一ツ積極的ニ新シイ方針ヲ立テ、見ヨウ、斯ウ云フ事ガ必要デアラウト思ヒマスガ、現内閣

○幣原國務大臣 今日ニ於テサウ云フ政策アリヤ否ヤノ御質問デアリマスレバ、只今ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、又吾々ノ執ッテ居ル政策ガ支離滅裂デアリ、チリ、バラ、デアルトモ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ將來ニ於テサウ云フ事モ考慮ニ加ヘテ決定スルガ宜カラウト云フ御意見ハ御尤デアリマシテ、吾々ハ十分ソレヲ考慮ニ加ヘル積リデアリマス

○東郷委員 議事進行ニ付テ……午前十時カラ最早六時マデヤッテ居リマス、大抵吾々ノ健康狀態モ考ヘナケレバナリマセヌシ、政府委員モ、殊ニ首相代理モ御疲レデアラウト思ヒマス、又明日ヤルコトデアアルシ、前途四十日モアルノデアルカラ、大抵此位ノ程度デ今日ハ御止メニナッテハ如何デスカ

○東郷委員 頭ノ中ニ入レテ御考ヘ下サルコトハ結構デスケレドモ、先程モ申上ゲマシタヤウニ此米ノ問題ノ根本ヲ解決スルニハ、何ヲ差措イテモ先ヅ此處カラハイラナケレバナラヌノデハナイカ、是ガチリ、バラ、ニナッテ居ッテハ、何處マデ經ッテモ解決ハ出來ナイト信ズルノデアリマス、ソレデアリマスカラ速ニサウ云フ方策ヲ御執リニナルコトガ、今日ノ此行詰タ米穀ノ問題ヲ解決スルニ適切ナ事ダと思ヒマスガ、政府ハサウ云フ御意思ハアリマセヌカ、意思ガアルトカナイトカ、ソ

○關矢委員 東サンノ御意見ハ至極御尤デアリマスガ、御承知ノ通り總理大臣ハ今貴族院ノ豫算總會ガアリマスノデ、御出席ガ中々困難デアリマス、先程モ私内輪デ東郷委員ト御話シテ、今日中ニ東郷委員ノ總理大臣ニ對スル質問ダケハ終了シヨウト云フ御打合せヲ致シタノデアリマス、若シ御差支ガナカッタナラバ、總理大臣ニ對スル御質問ダ

○西村委員長 東郷委員ニ確カメテ置キマスガ、本日ハアナタノ御質問ハ總理大臣ニ先ヅ質問シナケレバ、他ノ大臣ニ質問スルコトニハ參ラヌト云フコトデ、ソレガ爲ニ長イ間休憩シテ、總理大臣代理ノ御出席ヲ願ッタノデアリマス、サウスルト明日ハ總理大臣代理ガ出席サレズトモ、アナタハ他ノ大臣ニ對シテズツト質問ヲ繼續スル、斯ウ言フコトデ宜シイノデスカ

○東郷委員 左様デゴザイマス、唯將來總理大臣代理ニ質問出來ヌト言フコ

トハ困リマスカラ、ソレダケハ申上ゲ
テ置キマス、明日ハ私ハ農林大臣ヲ主
トシテ要求致シマス

○西村委員長 サウスルトドウデス、
本日ハ此程度デ打切ッテ御異議アリマ
セヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○西村委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ
散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開
會致シマス

午後六時一分散會